

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 資料 1 - 1 | 大阪府環境審議会 揮発性有機化合物・化学物質対策部会（第 5 回） |
| | 平成 1 8 年 9 月 1 日 |

府条例において適正管理の対象とする化学物質（案）について

1 化学物質の適正管理のための制度の現状

(1) 適正管理のための法制度とその目的

事業者による化学物質の適正管理の促進に関する法律及び条例は、以下のとおりである。

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律（平成 1 1 年法律第 8 6 号）（以下「化管法」という。）

大気汚染防止法（昭和 4 3 年法律第 9 7 号）（以下「大防法」という。）

大阪府生活環境の保全等に関する条例（平成 6 年大阪府条例第 6 号）（以下「府条例」という。）

各々の法制度における目的は、

事業者における化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止すること（化管法）

揮発性有機化合物の排出の規制と事業者が自主的に行う揮発性有機化合物の排出及び飛散の抑制のための取組とを適正に組み合わせて、効果的な揮発性有機化合物の排出の抑制及び飛散の抑制を図ること（大防法）

化学物質の大気中への排出を抑制すること（府条例）

となっている。

目的を比較すると、化管法が化学物質の様々な環境中への排出の抑制を目的としているのに対し、大防法は対象物質を揮発性有機化合物に限定し、府条例は排出の抑制の対象とする環境要素を大気に限定しており、事業者による化学物質の適正管理の促進による環境汚染の防止を目的としている点は共通しているが、その細部は若干異なっている。

参 考

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律（平成 1 1 年法律第 8 6 号）

（目的）

第 1 条 この法律は、環境の保全に係る化学物質の管理に関する国際的協調の動向に配慮しつつ、化学物質に関する科学的知見及び化学物質の製造、使用その他の取扱いに関する状況を踏まえ、事業者及び国民の理解の下に、特定の化学物質の環境への排出量等の把握に関する措置並びに事業者による特定の化学物質の性状及び取扱いに関する情報の提供に関する措置等を講ずることにより、事業者によ

る化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止することを目的とする。

大気汚染防止法（昭和43年法律第97号）

（施策等の実施の指針）

第17条の2 揮発性有機化合物の排出及び飛散の抑制に関する施策その他の措置は、この章に規定する揮発性有機化合物の排出の規制と事業者が自主的に行う揮発性有機化合物の排出及び飛散の抑制のための取組とを適正に組み合わせて、効果的な揮発性有機化合物の排出の抑制及び飛散の抑制を図ることを旨として、実施されなければならない。

大阪府生活環境の保全等に関する条例（平成6年大阪府条例第6号）

（化学物質の適正管理）

第40条 知事は、人の健康又は生活環境に係る影響を生ずるおそれがあると認められる化学物質を指定し、その大気中への排出を抑制するための適正な管理に関する指針を定めるものとする。

2 前項の化学物質を製造し、又は使用する事業者は、大気中への排出を抑制するため、前項の指針に基づき、これを適正に管理しなければならない。

(2) 適正管理の対象化学物質

化管法では、次の から までのいずれかに該当する化学物質を、適正管理の対象としている。

当該化学物質が人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息若しくは生育に支障を及ぼすおそれがあるものであること。（化管法第2条第2項第1号）

当該化学物質が前項に該当しない場合には、当該化学物質の自然的作用による化学的变化により容易に生成する化学物質が同号に該当するものであること。（化管法第2条第2項第2号）

当該化学物質がオゾン層を破壊し、太陽紫外放射の地表に到達する量を増加させることにより人の健康を損なうおそれがあるものであること。

これらに該当する化学物質のうち、その物理化学的性状やその製造、輸入、使用又は生成の状況等からみて、相当広範な地域の環境において当該化学物質が継続して存すると認められる化学物質（化管法第2条第2項）を「第一種指定化学物質」に指定し、排出量及び移動量の報告の対象とするとともに、当該化学物質の性状及び取扱いに関する情報（MSDS）の提供を義務付けている。

また、今後、製造量、輸入量又は使用量が増加し、相当広範な地域の環境において当該化学物質が継続して存することとなることが認められる化学物質（化管法第2条第3項）を「第二種指定化学物質」に指定し、当該化学物質の性状及び取扱いに関する情報（MSDS）の提供を義務付けている。

なお、現在、第一種指定化学物質としては354物質（化管法施行令別表第1）が、

第二種指定化学物質としては81物質（化管法施行令別表第2）が、それぞれ指定されている。

大防法では、揮発性有機化合物を事業者が自主的に行う排出及び飛散の防止のための取組の対象としている。

揮発性有機化合物は、沸点が150以上の有機化合物（府条例）や293.15Kにおける蒸気圧が0.01KPa以上である有機化合物（EU）と定義される場合もあるが、大防法では、物理的に明確な定義を与えず、大気中に排出され、又は飛散した時に気体である有機化合物（浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定めるものを除く。）（大防法第2条第4項）と定義している。

日本国内で使用されている揮発性有機化合物は、揮発性有機化合物である化学物質の混合物であるソルベントナフサ等の石油系溶剤を含め、約200物質であると言われている。

なお、環境省は、揮発性有機化合物に該当する化学物質のリストとして、年間使用量が上位である100物質のリストを、表1のとおり公表している。

府条例では、呼吸器官への作用に伴う人の健康への影響や悪臭、粉じん、爆発等の生活環境への影響に着目し、大気への排出を抑制する対象物質を定めることとし、大阪府化学物質適正管理指針（平成7年5月1日施行）（以下「現管理指針」という。）で、管理物質123物質を定めている。

なお、管理物質は、表2に示すとおりである。

化管法、大防法及び府条例において適正管理の対象とする化学物質は、各々の法制度の目的が異なることもあり、それぞれの関係は以下のとおり非常に複雑なものとなっている。

- ・ すべての化学物質を包含している法制度はない。
- ・ 3つの法制度のすべてで対象となっている化学物質も多い一方で、2つの法制度に対象となっている化学物質や1つの法制度のみで対象となっている化学物質も多い。
- ・ 複数の物質が、ある法制度では一物質として扱っている場合がある。

各法制度において適正管理の対象となっている化学物質の関係を図示すると、図1に示すとおりとなる。

表1 揮発性有機化合物（VOC）に該当する主な物質

別紙1

揮発性有機化合物（VOC）に該当する主な物質

| 物質名 | | 物質名 | |
|-----|--------------------------|-----|--------------------|
| 1 | トルエン | 51 | イソホロン |
| 2 | キシレン | 52 | シクロヘキサノン |
| 3 | 1,3,5-トリメチルベンゼン | 53 | エタノール |
| 4 | 酢酸エチル | 54 | メチルシクロペンタン |
| 5 | デカン | 55 | 酢酸ビニル |
| 6 | メタノール | 56 | 3-メチルヘキサン |
| 7 | ジクロロメタン | 57 | 2,3-ジメチルブタン |
| 8 | メチルエチルケトン | 58 | 2,2-ジメチルブタン |
| 9 | n-ブタン | 59 | メチルシクロヘキサン |
| 10 | イソブタン | 60 | イソプロピルセロソルブ |
| 11 | トリクロロエチレン | 61 | 1,2-ジクロロエタン |
| 12 | イソプロピルアルコール | 62 | 塩化ビニル |
| 13 | 酢酸ブチル | 63 | テトラフルオロエチレン |
| 14 | アセトン | 64 | エチルベンゼン |
| 15 | メチルイソブチルケトン | 65 | クメン |
| 16 | ブチルセロソルブ | 66 | クロロエタン |
| 17 | n-ヘキサン | 67 | トリクロロエタン |
| 18 | n-ブタノール | 68 | アクリロニトリル |
| 19 | n-ペンタン | 69 | テトラヒドロフラン |
| 20 | cis-2-ブテン | 70 | エチレングリコールモノメチルエーテル |
| 21 | イソブタノール | 71 | n-プロピルプロマイド |
| 22 | プロピレングリコールモノメチルエーテル | 72 | メタクリル酸メチル |
| 23 | テトラクロロエチレン | 73 | 1,3-ブタジエン |
| 24 | シクロヘキサン | 74 | 1,1-ジクロロエチレン |
| 25 | 酢酸プロピル | 75 | 2,4-ジメチルペンタン |
| 26 | trans-2-ブテン | 76 | 酸化プロピレン |
| 27 | エチルセロソルブ | 77 | クロロホルム |
| 28 | ウンデカン | 78 | 臭化メチル |
| 29 | ノナン | 79 | ジペンテン |
| 30 | プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート | 80 | 1-ヘプテン |
| 31 | 2-メチルペンタン | 81 | 1,4-ジオキサン |
| 32 | エチレングリコール | 82 | アセトニトリル |
| 33 | 2-メチル-2-ブテン | 83 | 塩化アリル |
| 34 | エチルシクロヘキサン | 84 | アクリル酸 |
| 35 | テトラリン | 85 | イソプレン |
| 36 | メチルアミルケトン | 86 | アセトアルデヒド |
| 37 | メチルn-ブチルケトン | 87 | 1,2-ジクロロプロパン |
| 38 | クロロメタン | 88 | メチルセロソルブアセテート |
| 39 | ベンジルアルコール | 89 | エチレンオキシド |
| 40 | シクロペンタノン | 90 | o-ジクロロベンゼン |
| 41 | 2-メチル-1-ブテン | 91 | クロロベンゼン |
| 42 | n-ヘプタン | 92 | ギ酸メチル |
| 43 | ビスシクロヘキシル | 93 | トリエチルアミン |
| 44 | N,N-ジメチルホルムアミド | 94 | 3-メチルヘプタン |
| 45 | trans-2-ペンテン | 95 | フェノール |
| 46 | cis-2-ペンテン | 96 | ナフタレン |
| 47 | スチレン | 97 | アクリル酸メチル |
| 48 | N-メチル-2-ピロリドン | 98 | シクロヘキシルアミン |
| 49 | エチルセロソルブアセテート | 99 | ホルムアルデヒド |
| 50 | ベンゼン | 100 | エピクロロヒドリン |

注1：本表は平成12年度における排出量推計結果に基づき排出量の多い順に配列した。

注2：物質名には通称を含む。

〔出典〕 環境省環境管理局长通知（平成17年6月17日付け環管大発第050617001号）

表2 大阪府化学物質適正管理指針(平成7年5月1日施行)の管理物質の一覧表

| 番号 | 管理物質名 | 別名(または例) | 番号 | 管理物質名 | 別名(または例) | 番号 | 管理物質名 | 別名(または例) |
|----|--------------------------|-------------------------|----|----------------------------|--------------------------------|-----|------------------------|----------------------------------|
| 1 | 亜鉛及びその化合物 | (例)塩化亜鉛、酸化亜鉛 | 42 | 酢酸 | エタン酸、氷酢酸 | 83 | トルエン | トルオール |
| 2 | アクリルアミド | アクリル酸アミド、2-プロペンアミド | 43 | 酢酸エステル類 | (例)酢酸エチル、酢酸ブチル | 84 | ナフタレン | ナフタリン |
| 3 | アクリル酸 | ビニルギ酸、2-プロペン酸 | 44 | 酢酸ビニル | 酢酸ビニルモノマー、ビニルアセテート | 85 | -ナフチルアミン | 1-ナフチルアミン |
| 4 | アクリル酸エステル類 | (例)アクリル酸エチル、アクリル酸ブチル | 45 | 三塩化リン | | 86 | ニッケル | |
| 5 | アクリロニトリル | シアノエチレン、シアン化ビニル | 46 | 酸化エチレン | エチレンオキシド、エポキシエタン | 87 | ニトロアニリン | |
| 6 | アセトアルデヒド | エタナール、エチルアルデヒド | 47 | 酸化プロピレン | 1,2-エポキシプロパン、プロピレンオキシド | 88 | N-ニトロジフェニルアミン | ジフェニルニトロサミン |
| 7 | アセトン | -ケトプロパン、ジメチルケトン | 48 | シアニ化水素及びシアニ化物 | (例)シアニ化カリウム、シアニ化水素、シアニ化ナトリウム | 89 | ニトロトルエン | |
| 8 | 2,2'-アゾビスイソブチロニトリル | ABN、AIBN | 49 | 四塩化炭素 | テトラクロロメタン、パークロロメタン | 90 | ニトロベンゼン | ミルバン油 |
| 9 | アニリン | アミノフェン、アミノベンゼン | 50 | シクロヘキサノン | アノン、ケトヘキサメチレン | 91 | 二硫化炭素 | |
| 10 | 3-アミノ-1,2,4-トリアゾール | ATA | 51 | シクロヘキサノール | ヘキサナフテン、ヘキサヒドロベンゼン | 92 | 2-ヒドロキシナフタレン | -ナフトール、2-ナフトール |
| 11 | アミノピリジン | (例)2-アミノピリジン、3-アミノピリジン | 52 | ジアニシジン | 3,3'-ジメチルベンジジン | 93 | ピリジン | |
| 12 | アリルアルコール | ビニルカルビノール | 53 | 4,4'-ジアミノジフェニルエーテル | 4,4'-ジアミノジフェニルオキシド | 94 | フェニレンジアミン | ジアミノベンゼン、アミノアニリン |
| 13 | アントラセン | | 54 | 4,4'-ジアミノジフェニルメタン | 4,4'-メチレンジアニリン | 95 | フェノール | 石炭酸 |
| 14 | アンモニア | | 55 | ジアミノトルエン | 2,4-ジアミノトルエン | 96 | フタル酸エステル類 | (例)フタル酸ジアリル、フタル酸ジイソデシル |
| 15 | エタノールアミン | 2-アミノエタノール、モノエタノールアミン | 56 | ジエチレントリアミン | DETA | 97 | フッ化水素 | 無水フッ酸 |
| 16 | エチレングリコール | 1,2-エタンジオール、グリコール | 57 | 1,4-ジオキサン | 1,4-ジエチレンオキシド、ジオキサン | 98 | フッ素 | |
| 17 | エチレングリコールモノエチルエーテル | エチルセロソルブ | 58 | 1,2-ジクロロエタン | EDC、エチレンジクロライド | 99 | フルフリルアルコール | 2-ヒドロキシメチルフラン |
| 18 | エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート | エチルセロソルブアセテート | 59 | 1,1-ジクロロエチレン | 塩化ビニリデン、VDC | 100 | 1,3-ブタジエン | ジビニル、ピビニル、ビニルエチレン |
| 19 | エチレングリコールモノブチルエーテル | ブチルセロソルブ、2-ブトキシエタノール | 60 | 1,2-ジクロロプロパン | 二塩化プロピレン | 101 | 1-ブタノール | n-ブタノール、n-ブチルアルコール |
| 20 | エチレングリコールモノメチルエーテル | メチルセロソルブ、2-メトキシエタノール | 61 | 1,3-ジクロロプロペン | 1,3-ジクロロ-1-プロペン | 102 | 2-ブタノール | メチルエチルケトン、MEK |
| 21 | エチレングリコールモノメチルエーテルアセテート | メチルセロソルブアセテート | 62 | 3,3'-ジクロロベンジジン | 3,3'-ジクロロ-1,1'-ビフェニル-4,4'-ジアミン | 103 | 2-プロパノール | イソプロピルアルコール、イソプロパノール、IPA |
| 22 | エチレンジアミン | 1,2-エタンジアミン、1,2-ジアミノエタン | 63 | ジクロロベンゼン | | 104 | ヘキサン | n-ヘキサン |
| 23 | 塩化アリル | アリルクロライド、クロロアリレン | 64 | ジニトロトルエン | (例)2,4-ジニトロトルエン | 105 | ベンゾトリクロライド | トリクロロフェニルメタン、フェニルクロロホルム |
| 24 | 塩化アンモニウム | 塩安 | 65 | ジニトロナフタレン | (例)1,5-ジニトロナフタレン | 106 | ほう素及びその化合物 | (例)ほう砂、ほう酸 |
| 25 | 塩化水素 | 無水塩酸 | 66 | 2,4-ジニトロフェノール | -ジニトロフェノール | 107 | メタクリル酸 | 2-メチルプロペン酸 |
| 26 | 塩化パラフィン | クロロパラフィン | 67 | ジフェニルアミン | N-フェニルアニリン | 108 | メタクリル酸エステル類 | (例)メタクリル酸エチル、メタクリル酸メチル |
| 27 | 塩化ベンジル | ベンジルクロライド | 68 | 2,4-ジメチルアニリン | 2,4-キシリジン | 109 | メチルアルコール | メタノール、木精 |
| 28 | 塩化メチル | クロロメタン、メチルクロライド | 69 | N,N-ジメチルアニリン | N,N-ジメチルベンゼンアミン | 110 | メチルクロロメチルエーテル | クロロジメチルエーテル |
| 29 | 塩化メチレン | ジクロロメタン、二塩化メチレン | 70 | N,N-ジメチルホルムアミド | ホルミルジメチルアミン、DMF、DMFA | 111 | メチルヒドラジン | モノメチルヒドラジン、MMH |
| 30 | 2-オクタノール | sec-カプリルアルコール | 71 | スチレン | スチレンモノマー、ビニルベンゼン | 112 | 4-メチル-2-ペンタノール | メチルイソブチルケトン、MIBK |
| 31 | カルバミド酸エチル | アミノギ酸エチル、ウレタン | 72 | セレン及びその化合物 | (例)セレン化水素 | 113 | 4,4'-メチレンビス(2-クロロアニリン) | 3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン、MOCA |
| 32 | キシレン | キシロール、ジメチルベンゼン | 73 | チオセミカルバジド | ヒドラジンカルボチオアミド | 114 | モノクロロ酢酸 | クロロ酢酸、クロロエタン酸、MCA |
| 33 | 蟻酸 | カルボキシ水素酸 | 74 | 窒素酸化物(硝酸含む) | (例)亜酸化窒素、一酸化窒素 | 115 | モノクロロベンゼン | クロロベンゼン、塩化フェニル |
| 34 | クレゾール | ヒドロキシトルエン、メチルフェノール | 75 | テトラクロロエチレン | パークレン、パークロロエチレン | 116 | 硫化水素 | |
| 35 | クロトンアルデヒド | クロトニクアルデヒド | 76 | 2,4,6-トリアミノ-1,3,5-トリアジン | メラミン | 117 | 硫酸 | 緑パン油 |
| 36 | クロム及びその化合物(6価クロム化合物を除く。) | (例)塩化クロム、酸化クロム | 77 | トリエタノールアミン | TEA | 118 | 硫酸ジエチル | ジエチル硫酸 |
| 37 | クロロアニリン | クロロアミノベンゼン、ムクロベンゼンアミン | 78 | 1,1,1-トリクロロエタン | メチルクロロホルム | 119 | 硫酸ジメチル | ジメチル硫酸 |
| 38 | 1-クロロ-2,3-エポキシプロパン | エピクロロヒドリン | 79 | トリクロロエチレン | トリクレン、三塩化エチレン | 120 | リン酸、リン酸化物及び水素化物 | (例)亜リン酸、次亜リン酸、無水リン酸 |
| 39 | 2-クロロ-1,3-ブタジエン | クロロブレン | 80 | 3,5,5-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-オン | イソホロン | 121 | リン酸ジブチル | ジブチルホスフェート、DBP |
| 40 | クロロホルム | トリクロロメタン | 81 | トリレンジイソシアネート | TDI | 122 | リン酸トリクレジル | トリクレジルホスフェート、TCP |
| 41 | 五塩化リン | 過塩化リン | 82 | トリイジン | メチルアニリン、メチルベンゼンアミン | 123 | リン酸トリブチル | トリブチルホスフェート、TBP |

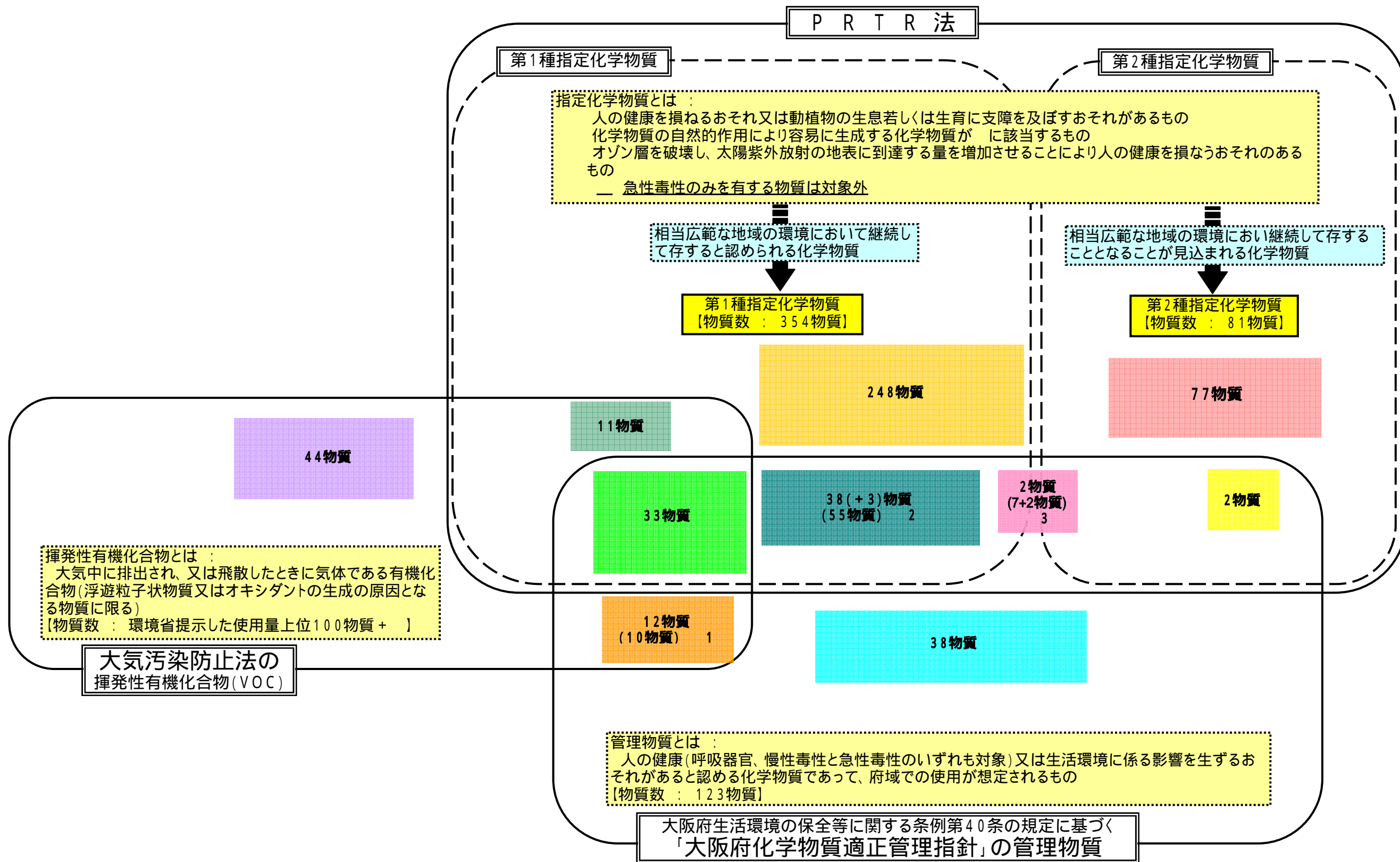


図1 PRTR法の指定化学物質(第1種・第2種)、大阪府化学物質適正管指針の管理物質及び大気汚染防止法の揮発性有機化合物(VOC)の関係

2 適正管理の対象とする化学物質の選定基準

(1) 対象とする化学物質の考え方

事業所における化学物質の環境中への排出等を抑制するための適正管理（以下「化学物質の適正管理」という。）を促進するための制度の状況は、次に示すとおりである。

- ・ 事業所における化学物質の適正管理を促進するため、既に化管法が制定されていること
- ・ 揮発性有機化合物の大気中への排出等を抑制するため、大防法が改正され、排出規制と揮発性有機化合物の適正管理のベストミックスにより対策を推進していること
- ・ 府条例では、平成6年の制定時から、事業所に対する化学物質の適正管理に関する指導を実施してきた実績があること

このような状況を踏まえ、今後、府条例で適正管理の対象とする化学物質は、以下に示す考え方により選定するのが適用である。

- ・ 対象とする化学物質は、化管法の第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質（以下「指定化学物質」という。）を基本とする。
- ・ 対象とする化学物質は、大汚法及び府条例のこれまでの取組みを考慮して、化管法の指定化学物質に加え、緊急事態対応及び揮発性有機化合物対策の観点から、大防法の揮発性有機化合物及び府条例の管理物質を含めること
- ・ なお、対象とする化学物質の区分については、化管法の区分に準じること

(2) 適正管理の対象とする化学物質の選定基準

以上の考え方を踏まえ、適正管理の対象とする化学物質の選定基準を整理すると以下のとおりとなる。今後、この基準に該当する化学物質があれば、追加することが適当である。

当該化学物質が人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息若しくは生育に支障を及ぼすおそれのあるものであること。 <有害性を有する化学物質>

当該化学物質が に該当しない場合には、当該化学物質の自然的作用による化学変化により容易に生成する化学物質が に該当するものであること。 <有害性を有する非意図的生成物質>

当該化学物質がオゾン層を破壊し、太陽紫外線の地表に到達する量を増加させることにより人の健康を損なうおそれがあるものであること。 <オゾン層破壊物質>

当該化学物質が浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因となるものであること。 <VOC規制対象物質>

当該化学物質が生活環境への影響を生じるおそれのあるものであること。
<良好な生活環境を阻害する化学物質>

注) 1 ~ は、化管法第2条第2項第1～3号の規定に基づき規定するも

- | | | |
|----------------|------|---------|
| ・ 第一種指定化学物質に該当 | 44物質 | } 計56物質 |
| ・ 第二種指定化学物質に該当 | 0物質 | |
| ・ 管理物質に該当 | 12物質 | |

+ とは、環境省が示した揮発性有機化合物の使用量上位100物質以外で、揮発性有機化合物に該当する化学物質及び混合物（ソルベントナフサ等の石油系溶剤を含む。）を示す。

(2) 取扱量、排出量等の届出の対象とする化学物質等

化管法は、環境リスクの観点から、事業者に対して、第一種指定化学物質についてのみ排出量及び移動量の届出を求めており、第二種指定化学物質については届出を求めている。

このため、府条例において新たに規定する化学物質の適正管理の制度においても、化管法の枠組みを踏襲し、その対象とする化学物質等のすべてに対して排出量及び移動量を求めることとはせず、環境リスクの観点から、排出量及び移動量の把握が必要であると認められる化学物質等に対してその届け出を求めることとするのが適当である。

したがって、現時点で環境中に広範囲に継続的に分布しているとは認められない第二種指定化学物質は、府条例においても、化管法と同様に排出量及び移動量の届出を求める必要はない。

府条例に基づく現管理指針では、すべての管理物質に対して、取扱量の届出を求めてきたが、府条例の新たな制度は環境中へ排出する化学物質等の量の抑制や環境リスクの低減を目的とすることから、取扱量に加え、排出量及び移動量の届出を事業者に対して求めることが適当である。

しかし、大阪府が独自に定める化学物質等の中には、発がん性、変異原性等を有していない化学物質であって、難分解性でなくかつ濃縮性が低い化学物質等もあり、これらについては、環境中への排出量等の長期的・継続的な把握の必要性が低く、むしろ事故の未然防止や事故発生時における措置が重要であるため、排出量及び移動量の届出は求めないこととすることが適当である。

なお、大阪府が独自に定める化学物質等（揮発性有機化合物にのみ該当するため、揮発性化合物の区分に移行する化学物質等を含む。）について、発がん性の有無、分解性や濃縮性の程度、変異原性の有無、揮発性有機化合物への該当について評価すると、その結果は表3に示すとおりである。

これによれば、大阪府が独自に定める化学物質等の61（現管理指針から移行する化学物質等の50を再区分）のうち、排出量及び移動量の届出の対象となる化学物質等は37、届出の対象とならない化学物質等は18、揮発性有機化合物に該当する化学物質等は6と分類された。

大防法には揮発性有機化合物の排出量及び移動量の届出の制度は設けられていないが、環境省は、事業者による自主的な適正管理の取組みによる揮発性有機化合物の総量に対して、大気への排出量の削減割合を政策目標として掲げている。

したがって、府条例においては、第一種指定化学物質又は大阪府が独自に定める化学物質等のうち揮発性有機化合物に該当する化学物質等を含め、揮発性有機化合物に関しては、その総量について排出量及び移動量の届出を求めることが適当である。

また、化管法では、化学物質等の排出量及び移動量のみ届出を求めているが、化学物質等の製造量や使用量等の取扱量が不明であるため、届出書に記載された排出量や移動量の精度の確認や適正管理の成果の評価ができないという問題点がある。

したがって、府条例においては、排出量及び移動量の届出を求める化学物質等については、これらの算定の基礎となる取扱量の届出を併せて求めるのが適当である。

以上の検討結果を整理すると、表4及び図2のとおりとなる。

表3 大阪府化学物質適正管理指針に掲げられている化学物質(第1種指定化学物質及び第2種指定化学物質に該当するものを除く。)の評価

| 番号 | ランク | 物質名 | 物質名・細分類 | CAS番号 | 発がん性(IARC) | VOC | 沸点 | 蒸気圧 | 有害大気汚染物質該当 | 分解性 | 濃縮性 | 備考 | 労働安全衛生法(MSDS対象) | 毒物及び劇物取締法(MSDS対象) |
|-----|-----|--------------------------------|---------------|------------|------------|-----|---------|-----------------|------------|-----|-----|------------------|------------------------------------|---|
| 25 | B | 塩化水素【有害-4】 | | 7647-01-0 | 3 | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の99 | 法律別表第2の8 政令第2条第16号(塩化水素を含む製剤。含有率10%以下除く。) |
| | | 塩化水素【有害-5】 | | 7782-50-5 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の105 | 政令第2条第17の3号 |
| | | 臭素【有害-9、特粉-6】 | | 7726-95-6 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の305 | 法律別表第2の50 |
| 7 | C | アセトン | | 67-64-1 | | | 56.5 | 230mmHg(25) | | 良 | - | | 政令第18条の2別表第9の17 | |
| 13 | B | アントラセン | | 120-12-7 | | | 342 | 194.4mmHg(20) | | 難 | 中 | | | |
| 14 | C | アンモニア | | 7664-41-7 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の39 | 法律別表第2の4 政令第2条第8号(アンモニアを含む製剤。含有率10%以下除く。) |
| 19 | C | エチレングリコールモノブチルエーテル | | 111-76-2 | 3 | | 171 | 0.6mmHg(20) | | 良 | - | | 政令第18条の2別表第9の80 | |
| 24 | C | 塩化アンモニウム | | 12125-02-9 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の97 | |
| 26 | C | 塩化パラフィン | | 63449-39-8 | | | | | | | | | | |
| 30 | C | 2-オクタノール | | 123-96-6 | | | 178.5 | 0.24mmHg(20) | | 良 | - | | | |
| 31 | A | カルバミン酸エチル(ウレタン) | | 51-79-6 | 2B | | 182 | 0.262mmHg(20) | | 難 | 低 | | 政令第18条の2別表第9の61 | |
| 33 | B | 蟻酸 | | 64-18-6 | | | 100.8 | 33.55mmHg(20) | | 良 | - | | 政令第18条の2別表第9の133 | 政令第2条第22の2号(ギ酸及びこれを含有する製剤。含有率90%以下除く。) |
| 35 | B | クロトンアルデヒド | | 4170-30-3 | 3 | | 104 | 30mmHg(20) | | 良 | - | 強度の変異原性 | 政令第18条の2別表第9の486 | |
| 39 | C | 2-クロロ-1,3-ブタジエン(クロロブレン) | | 126-99-8 | 2B | | 59.4 | 219mmHg(25) | | | | | 政令第18条の2別表第9の156 | 政令第2条第28の14号(クロロブレン及びこれを含有する製剤) |
| 41 | A | 五塩化リン | | 10026-13-8 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の170 | 政令第1条第6の3号(五塩化燐(別名五塩化リン)及びこれを含有する製剤) |
| 42 | C | 酢酸 | | 64-19-7 | | | 118 | 15.7mmHg(25) | | 良 | - | | 政令第18条の2別表第9の177 | |
| 43 | C | 酢酸エステル類 | 酢酸エチル | 141-78-6 | | | 77 | 93.4mmHg(25) | | 良 | - | | 政令第18条の2別表第9の178 | 政令第2条第30の3号 |
| | | | 酢酸ブチル | 123-86-4 | | | 125 | 11.5mmHg(25) | | | | | 政令第18条の2別表第9の182 | |
| | | | 酢酸プロピル | 109-60-4 | | | 101.6 | 33.3mmHg(25) | | 良 | - | | | |
| 45 | A | 三塩化リン | | 7719-12-2 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の188 | 政令第1条第6の6号(三塩化燐(別名三塩化リン)及びこれを含有する製剤) |
| 50 | C | シクロヘキサノン | | 108-94-1 | 3 | | 156 | 5mmHg(25) | | 良 | - | | 政令第18条の2別表第9の231 | |
| 51 | C | シクロヘキサン | | 110-82-7 | | | 80.7 | 98.4mmHg(25) | | 難 | 低 | | 政令第18条の2別表第9の232 | |
| 52 | A | ジアニシジン | | 119-90-4 | 2B | | 356 | 1.25E-7mmHg(25) | | | | 変異原性(陽性)、染色体(陽性) | 政令第17条別表第3第1号の5 | |
| 53 | A | 4,4'-ジアミノジフェニルエーテル | | 101-80-4 | 2B | | >300 | 4.36E-6mmHg(25) | | | | 強度の変異原性 | 政令第18条の2別表第9の208 | |
| 65 | B | ジニトロナフタレン | 1,6-ジニトロナフタレン | 605-71-0 | | | | | | 難 | 低 | 強度の変異原性 | | |
| | | | 1,8-ジニトロナフタレン | 602-38-0 | | | | | | | | 強度の変異原性 | | |
| 68 | A | 2,4-ジメチルアニリン | | 95-68-1 | 3 | | 214 | 0.133mmHg(25) | | 難 | 低 | 強度の変異原性 | 政令第18条の2別表第9の136 | |
| 69 | B | N,N-ジメチルアニリン | | 121-69-7 | 3 | | 192 | 0.503mmHg(25) | | 難 | 低 | 強度の変異原性 | 政令第18条の2別表第9の285 | |
| 73 | A | チオセミカルバチド | | 79-19-6 | | | | 0.33mmHg(25) | | 難 | 低 | | | 法律別表第1の17 政令第2条第70号(チオセミカルバチドを含有する製剤。チオセミカルバチド0.3%以下を含有し、黒色に着色され、かつ、トウガラシエキスをういて著しくからく着味されているものを除く。) |
| 74 | B | 窒素酸化物(硝酸を含む。) | 硝酸 | 7697-37-2 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の307 | 政令第2条第63号(硝酸を含有する製剤。硝酸10%以下を含有するものを除く。) |
| | | | 一酸化窒素 | 10024-97-2 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の54 | |
| | | | 五酸化窒素 | 10102-03-1 | | | | | | | | | | |
| | | | 一酸化窒素 | 10102-43-9 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の53 | |
| | | | 二酸化窒素 | 10102-44-0 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の415 | |
| | | | 四酸化窒素 | 10544-72-6 | | | | | | | | | | |
| | | | 三酸化窒素 | 10544-73-7 | | | | | | | | | | |
| 76 | C | 2,4,6-トリアミノ-1,3,5-トリアジン(メラミン) | | 108-78-1 | 3 | | 昇華(250) | 50.2mmHg(315) | | 難 | 低 | | | |
| 77 | A | トリエタノールアミン | | 102-71-6 | 3 | | 335.4 | 3.68E-6mmHg(25) | | 難 | 低 | | 政令第18条の2別表第9の380 | |
| 80 | B | 3,5,5-トリメチル-2-シクロヘキサノール(イソホロン) | | 78-59-1 | | | 215.3 | 0.3mmHg(20) | | 難 | 低 | | 政令第18条の2別表第9の50 | |
| 84 | C | ナフタレン | | 91-20-3 | 2B | | 217.3 | 0.082mmHg(25) | | 難 | 低 | 強度の変異原性 | 政令第18条の2別表第9の407 | |
| 85 | B | -ナフチルアミン | | 134-32-7 | 3 | | 301 | 0.00398mmHg(20) | | 難 | 低 | 変異原性(陽性)、染色体(陽性) | 政令第17条別表第3第1号の2 (-ナフチルアミン及びその塩) | |
| 89 | B | ニトロトルエン | o-ニトロトルエン | 88-72-2 | 3 | | 222 | 0.1mmHg(20) | | 難 | 低 | | 政令第18条の2別表第9の424 | |
| | | | p-ニトロトルエン | 99-99-0 | 3 | | 237.7 | 0.1mmHg(20) | | 難 | 低 | | 政令第18条の2別表第9の424 | |
| | | | m-ニトロトルエン | 99-08-1 | 3 | | 232 | 0.207mmHg(25) | | 難 | 低 | | 政令第18条の2別表第9の424 | |
| 92 | B | 2-ヒドロキシナフタレン | | 135-19-3 | | | 285 | 0.00032mmHg(25) | | 良 | - | | | 法律別表第2の78 政令第2条第92号(ベタナフトール(別名2-ナフトール)を含有する製剤。ただし、ベタナフトール1%以下を含有するものを除く。) |
| 98 | B | フッ素 | | 7782-41-4 | | | -188.13 | | | | | | 政令第18条の2別表第9の485 | |
| 99 | B | フルフリルアルコール | | 98-00-0 | | | 170 | 0.6082mmHg(25) | | 良 | - | | 政令第18条の2別表第9の489 | |
| 101 | C | 1-ブタノール | | 71-36-3 | | | 117 | 7.05mmHg(25) | | | | | 政令第18条の2別表第9の475 | |
| 102 | C | 2-ブタノール | | 78-93-3 | | | 79.6 | 95.5mmHg(25) | | | | | 政令第18条の2別表第9の568 | 政令第2条第98の8号(別名MEK) |
| 103 | C | 2-プロパノール | | 67-63-0 | 3 | | 82.5 | 33mmHg(20) | | 良 | - | | 政令第18条の2別表第9の518 | |
| 104 | C | ヘキサン | | 110-54-3 | | | 69 | 153mmHg(25) | | 良 | - | | 政令第18条の2別表第9の558 | 法律別表第2の83 |
| 109 | C | メチルアルコール | | 67-56-1 | | | 64.7 | 126mmHg(25) | | 良 | - | | 政令第18条の2別表第9の164 | |
| 110 | A | メチルクロロメチルエーテル | | 107-30-2 | 1 | | 59.2 | 189.75mmHg(20) | (優先) | 良 | - | 染色体(陽性) | 政令第18条の2別表第9の567 | |
| 112 | C | 4-メチル-2-ペンタノン | | 108-10-1 | | | 117 | 16mmHg(20) | | 良 | - | | 政令第18条の2別表第9の607 | |
| 116 | C | 硫化水素 | | 7783-06-4 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の611 | 法律別表第2の89 政令第2条第104号(硫酸を含む製剤。含有率10%以下除く。) |
| 117 | B | 硫酸 | | 7664-93-9 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の613 | |
| 118 | A | 硫酸ジエチル | | 64-67-5 | 2A | | 208 | 0.15mmHg(20) | | 良 | - | 強度の変異原性 | 政令第18条の2別表第9の614 | 法律別表第2の47 |
| 119 | A | 硫酸ジメチル | | 77-78-1 | 2A | | 188 | 0.49mmHg | | | | 強度の変異原性 | 政令第18条の2別表第9の616 | |
| 120 | B | リン酸、リン酸化合物及び水素化合物 | リン酸 | 7664-38-2 | | | | | | | | | 政令第18条の2別表第9の617 | |
| 121 | B | リン酸ジブチル | | 107-66-4 | | | 136 | 0.975mmHg(20) | | 難 | 低 | | 政令第18条の2別表第9の617 | |
| 122 | B | リン酸トリクレジル | | 1330-78-5 | | | 241 | 0.0001mmHg(20) | | | | | | |

(備考) 1 「発がん性(IARC)」欄は、IARC(世界がん研究機関)により、次のとおり分類されていることを示す。
 “1”:グループ1(人に対して発がん性を示す)、“2A”:グループ2A(人に対しておそく発がん性を示す)、“2B”:グループ2B(人に対して発がん性を示す可能性がある)、“3”:グループ3(人に対する発がん性について分類できない)、“4”:グループ4(人に対しておそく発がん性を示さない)
 2 「VOC」欄は、以下のとおり分類されることを示す。
 “ ”:環境省の提示したVOC100種に該当、“ ”:沸点(条例)及び蒸気圧(EU)のいずれでもVOCの定義に該当、“ ”:蒸気圧(EU)がVOCの定義に該当
 3 「有害大気汚染物質該当」欄は、“ ”が有害大気汚染物質に該当していることを、“(優先)”が有害大気汚染物質のうちの優先取組物質に該当していることを、それぞれ示す。
 4 「分解性」欄は、“難”は難分解性物質に該当することを、“良”は良分解性物質に該当することを、それぞれ示す。
 5 「濃縮性」欄は、“中”は中濃縮性の化学物質であることを、“低”は低濃縮性の化学物質であることを、それぞれ示す。

(参考) VOCの定義: 沸点が150 以下 条例、293.15Kで蒸気圧が0.01kPa(=760mmHg*0.01/101.3=0.0750mmHg)以上 EU

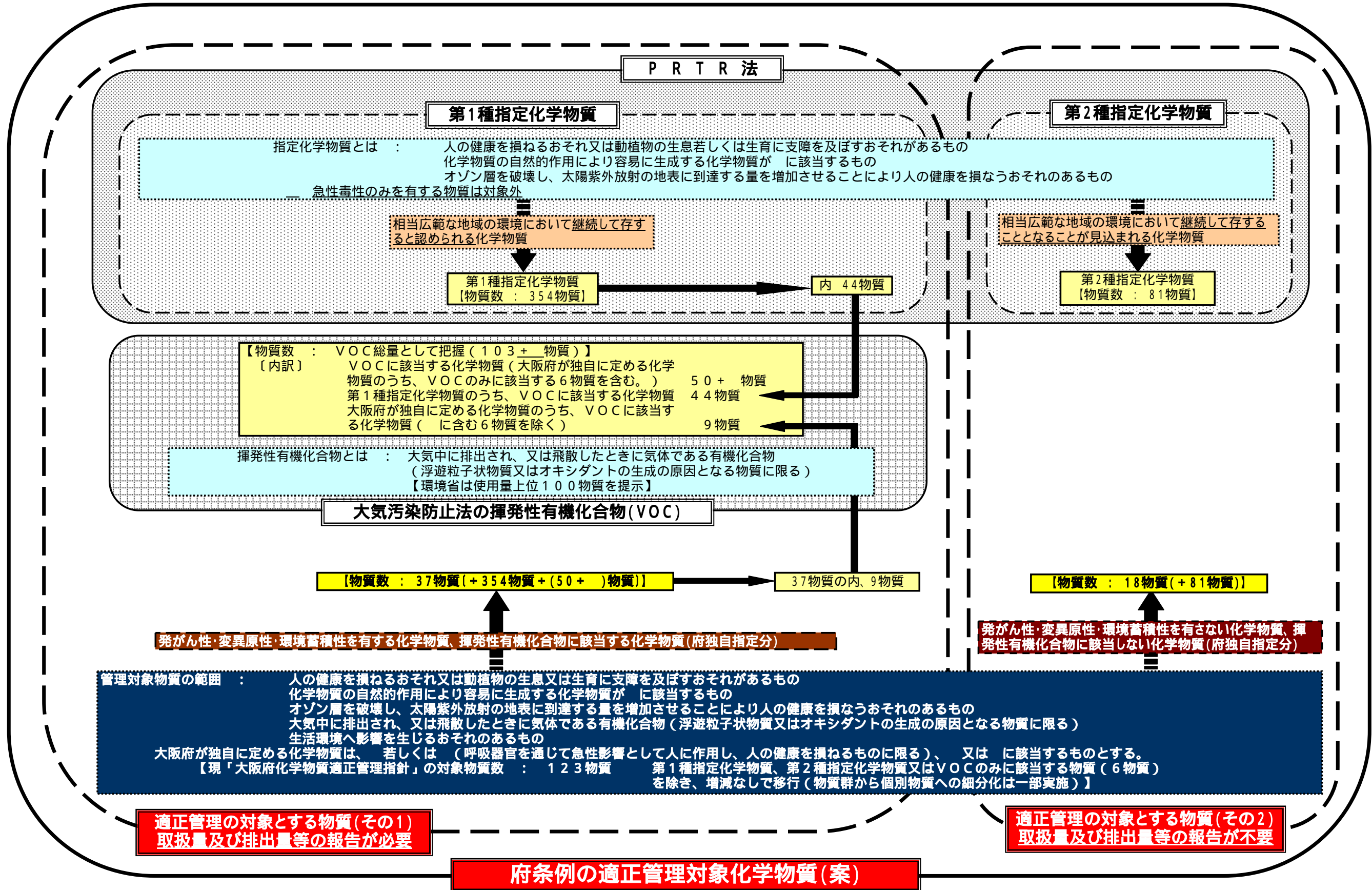


図2 PRTR法の指定化学物質(第1種・第2種)、府条例の適正管理対象化学物質(案)及び大気汚染防止法の揮発性有機化合物(VOC)の関係(条例改正後)

表4 適正管理の対象とする化学物質等の区分
 (取扱量、排出量の届出対象又は対象外による区分)

| 適正管理の対象とする物質(その1) | 適正管理の対象とする物質(その2) |
|--|--|
| 取扱量及び排出量等の届出の対象とする化学物質等 | 取扱量及び排出量等の届出の対象としない化学物質等 |
| <p>取扱量及び排出量等を物質毎に把握するもの</p> <p>第1種指定化学物質 354物質 大阪府が独自に定める化学物質等(揮発性有機化合物のみに該当する6物質²⁾を除く。) 37物質³⁾</p> <p>小計 391物質</p> | <p>第2種指定化学物質 81物質 大阪府が独自に定める化学物質等 18物質³⁾</p> |
| <p>取扱量及び排出量等をその総量で把握するもの</p> <p>揮発性有機化合物に該当する化学物質等(第1種指定化学物質及び大阪府が独自に定める化学物質等(揮発性有機化合物のみに該当する6物質²⁾を除く。)に該当するものを除く。 50物質+ 第1種指定化学物質のうち、環境省の提示した揮発性有機化合物の使用量上位100物質に該当する化学物質等 44物質 大阪府が独自に定める化学物質(揮発性有機化合物のみに該当する6物質²⁾を除く。)のうち、環境省の提示したVOC100種に該当する化学物質等 9物質</p> <p>小計 103物質+</p> | |
| <p>合計 441物質+ (重複して計上されることとなる53物質を除く。)</p> | <p>合計 99物質</p> |

- 注) 1 大阪府が独自に定める化学物質等の個々の分類結果は、表3に示す。
- 2 大阪府が独自に定める化学物質等のうち、VOCに該当する6物質とは、アセトン、2-オクタノール、酢酸、酢酸エチル、酢酸プロピル及び2-プロパノールの6物質である。
- なお、このうちのアセトン、酢酸エチル及び酢酸プロピルの3物質は、環境省の提示した揮発性有機化合物の使用量上位100物質に該当する化学物質等である。
- 3 大阪府が独自に定める化学物質等は、3の(1)の では50物質とされているが、現在化学物質群で指定されている「酢酸エステル類」は「酢酸エチル」等の3物質として、「ジニトロナフタレン」は「1,5-ジニトロナフタレン」等の2物質として、「ニトロトルエン」は「o-ニトロトルエン」等の3物質として、「窒素酸化物」は「硝酸」等の7物質として指定するため、合計で61物質となる。
- なお、「リン酸、リン酸化物及び水素化物」については、リン酸の1物質としてカウントしている。

(3) 化学物質等の特定方法

化学物質等を特定するためには、米国化学会の1部門であるCAS (Chemical Abstracts Service) が管理・運営する化学物質登録サービスから付与された化学物質に固有の数値識別番号 (CAS番号) の使用が効果的であることから、複数の化学物質で構成する化学物質群として指定する場合を除き、適正管理の対象とする化学物質等を明示する際には、CAS番号を付記することが必要である。

また、化学物質群にあっては、これに含まれる化学物質を、可能な範囲で特定するとともに、特定された化学物質についてはCAS番号を付記することが必要である。

(4) 適正管理の対象とする化学物質等の一覧

府条例の新たな化学物質の適正管理の制度における適正管理の対象とする化学物質等を、取扱量、排出量等の届出の対象とするものと取扱量、排出量等の届出の対象としないものに区分して、その名称を一覧表に示すと、別表のとおりとなる。

4 課題

府条例の新たな化学物質の適正管理の制度における適正管理の対象とする化学物質等について検討を進めてきたが、当該制度を円滑に、かつ適切に運用していくためには、以下の課題に対して適切に対応していくことが望まれる。

(1) 適正管理の対象とする化学物質等の定期的な見直し

適正管理の対象とする化学物質等は、化学物質等の製造や取扱いの状況、人の健康や動植物の生息・生育への影響、物理化学的性状等に関する現時点における知見に基づき、今回選定したものである。

化学物質等の取扱量は、生産量の増減や代替物質への移行等により、将来的に変動する可能性がある。

また、人の健康や動植物の生息・生育への影響に関しては、関係各機関において知見の収集が進められており、現在の知見が見直される可能性がある。

したがって、制度の運営者は、常に最新の知見の収集に努め、例えば5年といった一定の期間毎に、適正管理が必要な化学物質等の見直しを行う必要がある。

この場合、適正管理の対象として選定している化学物質等にあっても、新たな知見に基づき評価した場合、適正管理の対象とする必要がなくなった場合等には、適正管理の対象とする化学物質等から除外する等の対応をする必要がある。

(2) 府独自指定化学物質等の製品含有情報の入手

府条例の規定による取扱量及び排出量等の届出を円滑に運営するためには、事業者が取り扱う化学製品の中に含有されている府条例により取扱量及び排出量等の届出の対象となっている化学物質等（以下「届出対象物質」という。）の量（又は含有率）が、当該化学製品を製造、販売又は譲渡する事業者（以下「製造事業者等」という。）により提供されることが、前提条件となる。

府域で使用される化学製品は、大阪府域はもとより全国の各地の製造業者や販売業者から供給されていることから、届出対象物質を含有する化学製品を製造・販売している全国の事業者に対し、当該化学製品中に含有されている届出対象物質の正確な量（又は含有率）のデータを提供することを、実質的に求めることとなる。

このことは、各都道府県が同様に独自に条例で対象物質を定めた場合に、化学製品を製造・販売する事業者に対して、煩雑で過剰な負担を強いる結果を招くことになる恐れがある。

すなわち、製造している化学製品に含有している届出対象物質の正確な量（又は含有率）に関するデータを提供する必要のある当該製品の製造事業者等の負担を考えれば、化管法によるMSDS制度が定着している現状に鑑み、対象化学物質は可能な限

り同法に基づき全国一律であることが望ましいと考えられる。

したがって、府条例で独自に取扱量及び排出量等の届出の対象とした化学物質等については、同法の見直し時に、国に対して指定化学物質に追加するよう働きかけることが望まれる。

(3) 第一種指定化学物質以外の化学物質等に係る排出量等の算定への配慮

化学製品の中に含有されている届出対象物質の量（含有率）等のデータを、当該化学製品を購入等した事業者を提供すること（MSDS制度）を定めた法律は、化管法の他に、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）と毒物及び劇物取締法（昭和25年法律第303号）があるが、各法律は独自の目的の下に制定されているため、MSDS制度の対象となる化学物質等も当該目的に沿う形で独自の観点で選定されている。

このため、府条例で取扱量及び排出量等の届出を求める化学物質等のうちの第一種指定化学物質以外の化学物質等の中には、別表に示すとおり、化管法、労働安全衛生法又は毒物及び劇物取締法のいずれのMSDS制度の対象となっていないものが、若干見られるのが現状である。

このため、本制度を円滑に運営していくためには、いずれの法律によってもMSDS制度の対象となっていない化学物質等に関して、以下のケースを想定して、取扱量及び排出量等を算定する方法を定めておくことが必要である。

当該化学物質等の含有率が不明である場合

当該化学物質等の含有率が一定の幅をもって判明している場合

（例えば、10～20%、10%以下 等）

なお、条例中には、届出対象物質や当該物質を含有する化学製品を販売又は譲渡した事業者への含有化学物質の性状や取扱い上の注意事項等に関する情報の提供に関し、製造事業者等に対する一般的な責務規定を置くことを予定している。

このような規定を置くことにより、府域の製造事業者等は無論のこと日本国内の製造事業者に対しても、届出対象物質のうち法のMSDS制度の対象となっていない化学物質等に関し、化学製品中の当該化学物質等の含有量（又は含有率）に関する、少なくとも上記のレベルに相当するデータの提供への協力を求めることができるものとする。

別 表

大阪府生活環境の保全等に関する条例において適正管理の対象とする化学物質(案)

1. 取扱量及び排出量・移動量の把握及び届出の対象とする化学物質

| 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|----|---|-------|-------------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 1 | 第一種 亜鉛の水溶性化合物 | - | - | 1 | | - | - |
| 2 | 第一種 アクリルアミド | - | 79-06-1 | 2 | | | |
| 3 | 第一種 アクリル酸 | 84 | 79-10-7 | 3 | | | |
| 4 | 第一種 アクリル酸エチル | - | 140-88-5 | 4 | | | - |
| 5 | 第一種 アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル | - | 2439-35-2 | 4 | | - | - |
| 6 | 第一種 アクリル酸メチル | 97 | 96-33-3 | 4 | | | - |
| 7 | 第一種 アクリロニトリル | 68 | 107-13-1 | 5 | | | |
| 8 | 第一種 アクロレイン | - | 107-02-8 | - | | | |
| 9 | 第一種 アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル) | - | 103-23-1 | - | | - | - |
| 10 | 第一種 アジボニトリル | - | 111-69-3 | - | | | - |
| 11 | 第一種 アセトアルデヒド | 86 | 75-07-0 | 6 | | | - |
| 12 | 第一種 アセトニトリル | 82 | 75-05-8 | - | | | - |
| 13 | 第一種 2,2 -アゾビスイソブチロニトリル | - | 78-67-1 | 8 | | - | - |
| 14 | 第一種 o-アニシジン | - | 90-04-0 | (有、粉) | | | - |
| 15 | 第一種 アニリン | - | 62-53-3 | 9 | | | |
| 16 | 第一種 2-アミノエタノール | - | 141-43-5 | 15 | | | |
| 17 | 第一種 N-(2-アミノエチル)-1,2-エタンジアミン(別名ジエチレントリアミン) | - | 111-40-0 | 56 | | | - |
| 18 | 第一種 5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-3-シアノ-4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]ピラゾール(別名フィプロニル) | - | 120068-37-3 | - | | - | - |
| 19 | 第一種 3-アミノ-1H-1,2,4-トリアゾール(別名アミトロール) | - | 61-82-5 | 10 | | | - |
| 20 | 第一種 2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスフィニル]酪酸(別名グルホシネート) | - | 51276-47-2 | - | | - | - |
| 21 | 第一種 m-アミノフェノール | - | 591-27-5 | - | | - | - |
| 22 | 第一種 アリルアルコール | - | 107-18-6 | 12 | | | |
| 23 | 第一種 1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン | - | 106-92-3 | - | | | - |
| 24 | 第一種 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。) | - | - | - | | - | - |
| 25 | 第一種 アンチモン及びその化合物 | - | - | (有、粉) | | - | - |
| 26 | 特定 石綿 | - | 1332-21-4 | (粉) | | | - |
| 27 | 第一種 3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキシル=イソシアネート | - | 4098-71-9 | - | | | - |
| 28 | 第一種 イソブレン | 85 | 78-79-5 | - | | | - |
| 29 | 第一種 4,4 -イソプロピリデンジフェノール(別名ビスフェノールA) | - | 80-05-7 | - | | - | - |
| 30 | 第一種 4,4 -イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂)(液状のものに限る。) | - | 25068-38-6 | - | | - | - |
| 31 | 第一種 2,2 -(イソプロピリデンビス[(2,6-ジプロモ-4,1-フェニレン)オキシ])ジエタノール | - | 4162-45-2 | - | | - | - |
| 32 | 第一種 2-イミダゾリジンチオン | - | 96-45-7 | - | | | - |
| 33 | 第一種 1,1 -[イミノジ(オクタメチレン)]ジグアニジン(別名イミノクタジン) | - | 13516-27-3 | - | | - | - |

| 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|----|---|-------|------------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 34 | 第一種 エチル=2-[4-(6-クロロ-2-キノキサリニルオキシ)フェノキシ]プロピオナート(別名キザロホップエチル) | - | 76578-14-8 | - | | - | - |
| 35 | 第一種 S-エチル=2-(4-クロロ-2-メチルフェノキシ)チオアセタート(別名フェノチオール又はMCPAチオエチル) | - | 25319-90-8 | - | | - | - |
| 36 | 第一種 O-エチル=O-(6-ニトロ-m-トリル)=sec-ブチルホスホルアミドチオアート(別名ブタミホス) | - | 36335-67-8 | - | | - | - |
| 37 | 第一種 O-エチル=O-4-ニトロフェニル=フェニルホスホノチオアート(別名EPN) | - | 2104-64-5 | - | | - | - |
| 38 | 第一種 N-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ-3,4-キシリジン(別名ベンディメタリン) | - | 40487-42-1 | - | | - | - |
| 39 | 第一種 S-エチル=ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオアート(別名モリネート) | - | 2212-67-1 | - | | - | - |
| 40 | 第一種 エチルベンゼン | 64 | 100-41-4 | - | | - | - |
| 41 | 第一種 エチレンイミン | - | 151-56-4 | - | | - | - |
| 42 | 特定 エチレンオキシド | 89 | 75-21-8 | 46 | | - | - |
| 43 | 第一種 エチレングリコール | 32 | 107-21-1 | 16 | | - | - |
| 44 | 第一種 エチレングリコールモノエチルエーテル | 27 | 110-80-5 | 17 | | - | - |
| 45 | 第一種 エチレングリコールモノメチルエーテル | 70 | 109-86-4 | 20 | | - | - |
| 46 | 第一種 エチレンジアミン | - | 107-15-3 | 22 | | - | - |
| 47 | 第一種 エチレンジアミン四酢酸 | - | 60-00-4 | - | | - | - |
| 48 | 第一種 N,N -エチレンビス(ジチオカルバミン酸)亜鉛(別名ジネブ) | - | 12122-67-7 | 1 | | - | - |
| 49 | 第一種 N,N -エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガン(別名マンネブ) | - | 12427-38-2 | - | | - | - |
| 50 | 第一種 N,N -エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガンとN,N -エチレンビス(ジチオカルバミン酸)亜鉛の錯化合物(別名マンコゼブ又はマンゼブ) | - | 8018-01-7 | 1 | | - | - |
| 51 | 第一種 1,1 -エチレン-2,2 -ピピリジニウム=ジプロミド(別名ジクアトジプロミド又はジクワット) | - | 85-00-7 | - | | - | - |
| 52 | 第一種 4 -エトキシアセトアニリド(別名フェナセチン) | - | 62-44-2 | - | | - | - |
| 53 | 第一種 5-エトキシ-3-トリクロロメチル-1,2,4-チアジアゾール(別名エクロメゾール) | - | 2593-15-9 | - | | - | - |
| 54 | 第一種 エピクロロヒドリン | 100 | 106-89-8 | 38 | | - | - |
| 55 | 第一種 2,3-エポキシ-1-プロパノール | - | 556-52-5 | - | | - | - |
| 56 | 第一種 1,2-エポキシプロパン(別名酸化プロピレン) | 76 | 75-56-9 | 47 | | - | - |
| 57 | 第一種 2,3-エポキシプロピル=フェニルエーテル | - | 122-60-1 | - | | - | - |
| 58 | 第一種 1-オクタノール | - | 111-87-5 | - | | - | - |
| 59 | 第一種 p-オクチルフェノール | - | 1806-26-4 | - | | - | - |
| 60 | 特定 カドミウム及びその化合物 | - | - | (有、粉) | | - | - |
| 61 | 第一種 -カプロラクタム | - | 105-60-2 | - | | - | - |
| 62 | 第一種 2,6-キシレノール | - | 576-26-1 | - | | - | - |
| 63 | 第一種 キシレン | 2 | 1330-20-7 | 32 | | - | - |
| 64 | 第一種 銀及びその水溶性化合物 | - | - | - | | - | - |
| 65 | 第一種 グリオキサル | - | 107-22-2 | - | | - | - |
| 66 | 第一種 グルタルアルデヒド | - | 111-30-8 | - | | - | - |
| 67 | 第一種 クレゾール | - | 1319-77-3 | 34 | | - | - |
| 68 | 第一種 クロム及び3価クロム化合物 | - | - | 68 | | - | - |
| 69 | 特定 6価クロム化合物 | - | - | (有、粉) | | - | - |
| 70 | 第一種 クロロアセチル=クロリド | - | 79-04-9 | - | | - | - |

| | 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|-----|-----|--|-------|-------------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 71 | 第一種 | o-クロロアニリン | - | 95-51-2 | 37 | | - | |
| 72 | 第一種 | p-クロロアニリン | - | 108-42-9 | 37 | | - | - |
| 73 | 第一種 | m-クロロアニリン | - | 106-47-8 | 37 | | - | - |
| 74 | 第一種 | クロロエタン | 66 | 75-00-3 | - | | | |
| 75 | 第一種 | 2-クロロ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-1,3,5-トリアジン(別名アトラジン) | - | 1912-24-9 | - | | | - |
| 76 | 第一種 | 2-クロロ-2-エチル-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)-6-メチルアセトアニリド(別名メトラクロール) | - | 51218-45-2 | - | | - | - |
| 77 | 特定 | クロロエチレン(別名塩化ビニル) | 62 | 75-01-4 | (有) | | | - |
| 78 | 第一種 | 3-クロロ-N-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジル)-a,a,a-トリフルオロ-2,6-ジニトロ-p-トルイジン(別名フルアジナム) | - | 79622-59-6 | - | | - | - |
| 79 | 第一種 | 1-((2-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フェニル]-4-メチル-1,3-ジオキサラン-2-イル)メチル)-1H-1,2,4-トリアゾール(別名ジフェノコナゾール) | - | 119446-68-3 | - | | - | - |
| 80 | 第一種 | クロロ酢酸 | - | 79-11-8 | 114 | | - | - |
| 81 | 第一種 | 2-クロロ-2,6-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド(別名ブレチラクロール) | - | 51218-49-6 | - | | - | - |
| 82 | 第一種 | 2-クロロ-2,6-ジエチル-N-(メトキシメチル)アセトアニリド(別名アラクロール) | - | 15972-60-8 | - | | - | - |
| 83 | 第一種 | 1-クロロ-2,4-ジニトロベンゼン | - | 97-00-7 | - | | - | - |
| 84 | 第一種 | 1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(別名HCFC-142b) | - | 75-68-3 | - | | - | - |
| 85 | 第一種 | クロロジフルオロメタン(別名HCFC-22) | - | 75-45-6 | - | | - | - |
| 86 | 第一種 | 2-クロロ-1,1,1,2-テトラフルオロエタン(別名HCFC-124) | - | 2837-89-0 | - | | - | - |
| 87 | 第一種 | クロロトリフルオロエタン(別名HCFC-133) | - | 1330-45-6 | - | | - | - |
| 88 | 第一種 | クロロトリフルオロメタン(別名CFC-13) | - | 75-72-9 | - | | - | - |
| 89 | 第一種 | o-クロロトルエン | - | 95-49-8 | - | | - | - |
| 90 | 第一種 | 2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-1,3,5-トリアジン(別名シマジン又はCAT) | - | 122-34-9 | - | | - | - |
| 91 | 第一種 | 3-クロロプロペン(別名塩化アリル) | 83 | 107-05-1 | 23 | | | - |
| 92 | 第一種 | 4-クロロベンジル=N-(2,4-ジクロロフェニル)-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)チオアセトイミダート(別名イミベンコナゾール) | - | 86598-92-7 | - | | - | - |
| 93 | 第一種 | クロロベンゼン | 91 | 108-90-7 | 115 | | | - |
| 94 | 第一種 | クロロペンタフルオロエタン(別名CFC-115) | - | 76-15-3 | - | | | - |
| 95 | 第一種 | クロロホルム | 77 | 67-66-3 | 40 | | | |
| 96 | 第一種 | クロロメタン(別名塩化メチル) | 38 | 74-87-3 | 28 | | | |
| 97 | 第一種 | (4-クロロ-2-メチルフェノキシ)酢酸(別名MCP又はMCPA) | - | 94-74-6 | - | | - | - |
| 98 | 第一種 | 2-クロロ-N-(3-メトキシ-2-チエニル)-2',6'-ジメチルアセトアニリド(別名テニルクロール) | - | 96491-05-3 | - | | - | - |
| 99 | 第一種 | 五酸化バナジウム | - | 1314-62-1 | (有、粉) | | | |
| 100 | 第一種 | コバルト及びその化合物 | - | - | - | | - | - |
| 101 | 第一種 | 酢酸2-エトキシエチル(別名エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート) | 49 | 111-15-9 | 18 | | | - |
| 102 | 第一種 | 酢酸ビニル | 55 | 108-05-4 | 44 | | | - |

| 区分 | 物 質 名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|-----|--|-------|-------------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 103 | 第一種 酢酸2-メトキシエチル(別名エチレングリコールモノメチルエーテルアセテート) | 88 | 110-49-6 | 21 | | | - |
| 104 | 第一種 サリチルアルデヒド | - | 90-02-8 | - | | - | - |
| 105 | 第一種 a-シアノ-3-フェノキシベンジル=N-(2-クロロ-a,a,a-トリフルオロ-p-トリル)-D-バリネート(別名フルバリネート) | - | 102851-06-9 | - | | - | - |
| 106 | 第一種 a-シアノ-3-フェノキシベンジル=2-(4-クロロフェニル)-3-メチルブチレート(別名フェンバレレート) | - | 51630-58-1 | - | | - | - |
| 107 | 第一種 a-シアノ-3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロピニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシレート(別名シベルメトリン) | - | 52315-07-8 | - | | - | - |
| 108 | 第一種 無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。) | - | - | 48 | | - | - |
| 109 | 第一種 2-(ジエチルアミノ)エタノール | - | 100-37-8 | - | | - | - |
| 110 | 第一種 N,N-ジエチルチオカルバミン酸S-4-クロロベンジル(別名チオベンカルブ又はベンチオカーブ) | - | 28249-77-6 | - | | - | - |
| 111 | 第一種 N,N-ジエチル-3-(2,4,6-トリメチルフェニル)スルホニル-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド(別名カフェンストロール) | - | 125306-83-4 | - | | - | - |
| 112 | 第一種 四塩化炭素 | - | 56-23-5 | 49 | | - | - |
| 113 | 第一種 1,4-ジオキサソ | 81 | 123-91-1 | 57 | | - | - |
| 114 | 第一種 シクロヘキシルアミン | 98 | 108-91-8 | - | | - | - |
| 115 | 第一種 N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド | - | 95-33-0 | - | | - | - |
| 116 | 第一種 1,2-ジクロロエタン | 61 | 107-06-2 | 58 | | - | - |
| 117 | 第一種 1,1-ジクロロエチレン(別名塩化ビニリデン) | 74 | 75-35-4 | 59 | | - | - |
| 118 | 第一種 cis-1,2-ジクロロエチレン | - | 156-59-2 | - | | - | - |
| 119 | 第一種 trans-1,2-ジクロロエチレン | - | 156-60-5 | - | | - | - |
| 120 | 第一種 3,3-ジクロロ-4,4-ジアミノジフェニルメタン | - | 101-14-4 | 113 | | - | - |
| 121 | 第一種 ジクロロジフルオロメタン(別名CFC-12) | - | 75-71-8 | - | | - | - |
| 122 | 第一種 3,5-ジクロロ-N-(1,1-ジメチル-2-プロピニル)ベンズアミド(別名プロピザミド) | - | 23950-58-5 | - | | - | - |
| 123 | 第一種 ジクロロテトラフルオロエタン(別名CFC-114) | - | - | - | | - | - |
| 124 | 第一種 2,2-ジクロロ-1,1,1-トリフルオロエタン(別名HCFC-123) | - | 306-83-2 | - | | - | - |
| 125 | 第一種 2,4-ジクロロ-a,a,a-トリフルオロ-4-ニトロ-m-トルエンスルホンアニド(別名フルスルファミド) | - | 106917-52-6 | - | | - | - |
| 126 | 第一種 2-[4-(2,4-ジクロロ-m-トルオイル)-1,3-ジメチル-5-ピラゾリルオキシ]-4-メチルアセトフェノン(別名ベンゾフェナップ) | - | 82692-44-2 | - | | - | - |
| 127 | 第一種 1,2-ジクロロ-3-ニトロベンゼン | - | 3209-22-1 | - | | - | - |
| 128 | 第一種 1,4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン | - | 89-61-2 | - | | - | - |
| 129 | 第一種 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素(別名ジウロン又はDCMU) | - | 330-54-1 | - | | - | - |
| 130 | 第一種 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチル尿素(別名リニューロン) | - | 330-55-2 | - | | - | - |
| 131 | 第一種 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(別名2,4-D又は2,4-PA) | - | 94-75-7 | - | | - | - |
| 132 | 第一種 1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン(別名HCFC-141b) | - | 1717-00-6 | - | | - | - |
| 133 | 第一種 ジクロロフルオロメタン(別名HCFC-21) | - | 75-43-4 | - | | - | - |
| 134 | 第一種 1,3-ジクロロ-2-プロパノール | - | 96-23-1 | - | | - | - |
| 135 | 第一種 1,2-ジクロロプロパン | 87 | 78-87-5 | 60 | | - | - |

| | 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|-----|-----|--|-------|------------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 136 | 第一種 | 3,4-ジクロロプロピオンアニド(別名プロパニル又はDCPA) | - | 709-98-8 | - | | - | - |
| 137 | 第一種 | 1,3-ジクロロプロペン(別名D-D) | - | 542-75-6 | 61 | | | - |
| 138 | 第一種 | 3,3-ジクロロベンジジン | - | 91-94-1 | 62 | | | - |
| 139 | 第一種 | o-ジクロロベンゼン | 90 | 95-50-1 | 63 | | | - |
| 140 | 第一種 | p-ジクロロベンゼン | - | 106-46-7 | 63 | | | - |
| 141 | 第一種 | 2-[4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチル-5-ピラゾリルオキシ]アセトフェノン(別名ピラゾキシフェン) | - | 71561-11-0 | - | | - | - |
| 142 | 第一種 | 4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチル-5-ピラゾリル=4-トルエンシルホナート(別名ピラゾレート) | - | 58011-68-0 | - | | - | - |
| 143 | 第一種 | 2,6-ジクロロベンゾニトリル(別名ジクロベニル又はDBN) | - | 1194-65-6 | - | | - | - |
| 144 | 第一種 | ジクロロペンタフルオロプロパン(別名HCFC-225) | - | - | - | | - | - |
| 145 | 第一種 | ジクロロメタン(別名塩化メチレン) | 7 | 75-09-2 | 29 | | | - |
| 146 | 第一種 | 2,3-ジシアノ-1,4-ジチアアントラキノン(別名ジチアノン) | - | 3347-22-6 | - | | - | - |
| 147 | 第一種 | 1,3-ジチオラン-2-イリデンマロン酸ジイソプロピル(別名イソプロチオラン) | - | 50512-35-1 | - | | - | - |
| 148 | 第一種 | ジチオリン酸O-エチル-S,S-ジフェニル(別名エディフェンホス又はEDDP) | - | 17109-49-8 | - | | - | - |
| 149 | 第一種 | ジチオリン酸S-2-(エチルチオ)エチル-O,O-ジメチル(別名チオメトン) | - | 640-15-3 | - | | - | - |
| 150 | 第一種 | ジチオリン酸O-エチル-O-(4-メチルチオフェニル)-S-n-プロピル(別名スルプロホス) | - | 35400-43-2 | - | | | |
| 151 | 第一種 | ジチオリン酸O,O-ジエチル-S-(2-エチルチオエチル)(別名エチルチオメトン又はジスルホトン) | - | 298-04-4 | - | | | |
| 152 | 第一種 | ジチオリン酸O,O-ジエチル-S-[(6-クロロ-2,3-ジヒドロ-2-オキソベンゾオキサゾリニル)メチル](別名ホサロン) | - | 2310-17-0 | - | | - | - |
| 153 | 第一種 | ジチオリン酸O-2,4-ジクロロフェニル-O-エチル-S-プロピル(別名プロチオホス) | - | 34643-46-4 | - | | - | - |
| 154 | 第一種 | ジチオリン酸S-(2,3-ジヒドロ-5-メトキシ-2-オキソ-1,3,4-チアジアゾール-3-イル)メチル-O,O-ジメチル(別名メチダチオン又はDMTP) | - | 950-37-8 | - | | - | - |
| 155 | 第一種 | ジチオリン酸O,O-ジメチル-S-1,2-ビス(エトキシカルボニル)エチル(別名マラソン又はマラチオン) | - | 121-75-5 | - | | | - |
| 156 | 第一種 | ジチオリン酸O,O-ジメチル-S-[(N-メチルカルバモイル)メチル](別名ジメトエート) | - | 60-51-5 | - | | | |
| 157 | 第一種 | ジニトロトルエン | - | 25321-14-6 | 64 | | | - |
| 158 | 第一種 | 2,4-ジニトロフェノール | - | 51-28-5 | 66 | | - | - |
| 159 | 第一種 | ジフェニルアミン | - | 122-39-4 | 67 | | | - |
| 160 | 第一種 | 2-(ジ-n-ブチルアミノ)エタノール | - | 102-81-8 | - | | | - |
| 161 | 第一種 | N-ジブチルアミノチオ-N-メチルカルバミン酸2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチル-7-ベンゾ[b]フラニル(別名カルボスルファン) | - | 55285-14-8 | - | | - | - |
| 162 | 第一種 | ジプロモテトラフルオロエタン(別名ハロン-2402) | - | - | - | | - | - |
| 163 | 第一種 | 2,6-ジメチルアニリン | - | 87-62-7 | - | | | - |
| 164 | 第一種 | 3,4-ジメチルアニリン | - | 95-64-7 | - | | | - |
| 165 | 第一種 | N,N-ジメチルチオカルバミン酸S-4-フェノキシブチル(別名フェノチオカルブ) | - | 62850-32-2 | - | | - | - |
| 166 | 第一種 | N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド | - | 1643-20-5 | - | | - | - |

| | 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|-----|-----|---|-------|------------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 167 | 第一種 | ジメチル=2,2,2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホナート(別名トリクロロホン又はDEP) | - | 52-68-6 | - | | - | |
| 168 | 第一種 | 1,1 -ジメチル-4,4 -ピピリジニウム塩(次号に掲げるものを除く。) | - | 4685-14-7 | - | | - | |
| 169 | 第一種 | 1,1 -ジメチル-4,4 -ピピリジニウム=ジクロリド(別名パラコート又はパラコートジクロリド) | - | 1910-42-5 | - | | - | |
| 170 | 第一種 | N-(1,2-ジメチルプロピル)-N-エチルチオカルバミン酸S-ベンジル(別名エスプロカルブ) | - | 85785-20-2 | - | | - | |
| 171 | 第一種 | 3,3 -ジメチルベンジジン(別名o-トリジン) | - | 119-93-7 | - | | - | |
| 172 | 第一種 | N,N-ジメチルホルムアミド | 44 | 68-12-2 | 70 | | - | |
| 173 | 第一種 | 2-[(ジメトキシホスフィノチオイル)チオ]-2-フェニル酢酸エチル(別名フェントエート又はPAP) | - | 2597-03-7 | - | | - | |
| 174 | 第一種 | 3,5-ジヨード-4-オクタノイルオキシベンゾニトリル(別名アイオキシニル) | - | 3861-47-0 | - | | - | |
| 175 | 第一種 | 水銀及びその化合物 | - | - | (有、粉) | | - | |
| 176 | 第一種 | 有機スズ化合物 | - | - | - | | - | |
| 177 | 第一種 | スチレン | 47 | 100-42-5 | 71 | | - | |
| 178 | 第一種 | セレン及びその化合物 | - | - | 72 | | - | |
| 179 | 特定 | ダイオキシン類 | - | - | - | | - | |
| 180 | 第一種 | 2-チオキソ-3,5-ジメチルテトラヒドロ-2H-1,3,5-チアジアジン(別名ダゾメット) | - | 533-74-4 | - | | - | |
| 181 | 第一種 | チオ尿素 | - | 62-56-6 | - | | - | |
| 182 | 第一種 | チオフェノール | - | 108-98-5 | - | | - | |
| 183 | 第一種 | チオリン酸O-1-(4-クロロフェニル)-4-ピラゾリル-O-エチル-S-プロピル(別名ピラクロホス) | - | 77458-01-6 | - | | - | |
| 184 | 第一種 | チオリン酸O-4-シアノフェニル-O,O-ジメチル(別名シアノホス又はCYAP) | - | 2636-26-2 | - | | - | |
| 185 | 第一種 | チオリン酸O,O-ジエチル-O-(2-イソプロピル-6-メチル-4-ピリミジニル)(別名ダイアジノン) | - | 333-41-5 | - | | - | |
| 186 | 第一種 | チオリン酸O,O-ジエチル-O-(6-オキソ-1-フェニル-1,6-ジヒドロ-3-ピリダジニル)(別名ピリダフェンチオン) | - | 119-12-0 | - | | - | |
| 187 | 第一種 | チオリン酸O,O-ジエチル-O-2-キノキサリニル(別名キナルホス) | - | 13593-03-8 | - | | - | |
| 188 | 第一種 | チオリン酸O,O-ジエチル-O-(3,5,6-トリクロロ-2-ピリジニル)(別名クロルピリホス) | - | 2921-88-2 | - | | - | |
| 189 | 第一種 | チオリン酸O,O-ジエチル-O-(5-フェニル-3-イソオキサゾリル)(別名イソキサチオン) | - | 18854-01-8 | - | | - | |
| 190 | 第一種 | チオリン酸O-2,4-ジクロロフェニル-O,O-ジエチル(別名ジクロロフェンチオン又はECP) | - | 97-17-6 | - | | - | |
| 191 | 第一種 | チオリン酸O,O-ジメチル-S-{2-[1-(N-メチルカルバモイル)エチルチオ]エチル}(別名パミドチオン) | - | 2275-23-2 | - | | - | |
| 192 | 第一種 | チオリン酸O,O-ジメチル-O-(3-メチル-4-ニトロフェニル)(別名フェニトロチオン又はMEP) | - | 122-14-5 | - | | - | |
| 193 | 第一種 | チオリン酸O,O-ジメチル-O-(3-メチル-4-メチルチオフェニル)(別名フェンチオン又はMPP) | - | 55-38-9 | - | | - | |
| 194 | 第一種 | チオリン酸O-3,5,6-トリクロロ-2-ピリジニル-O,O-ジメチル(別名クロルピリホスメチル) | - | 5598-13-0 | - | | - | |

| | 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|-----|-----|--|-------|------------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 195 | 第一種 | チオりん酸O-4-ブromo-2-クロロフェニル-O-エチル-S-プロピル(別名プロフェノホス) | - | 41198-08-7 | - | | - | - |
| 196 | 第一種 | チオりん酸S-ベンジル-O,O-ジイソプロピル(別名イプロベンホス又はIBP) | - | 26087-47-8 | - | | - | - |
| 197 | 第一種 | デカブロモジフェニルエーテル | - | 1163-19-5 | - | | - | - |
| 198 | 第一種 | 1,3,5,7-テトラアザトリシクロ[3.3.1.13.7]デカン(別名ヘキサメチレンテトラミン) | - | 100-97-0 | - | | - | - |
| 199 | 第一種 | テトラクロロイソフタロニトリル(別名クロロタロニル又はTPN) | - | 1897-45-6 | - | | - | - |
| 200 | 第一種 | テトラクロロエチレン | 23 | 127-18-4 | 75 | | | - |
| 201 | 第一種 | テトラクロロジフルオロエタン(別名CFC-112) | - | - | - | | - | - |
| 202 | 第一種 | テトラヒドロメチル無水フタル酸 | - | 11070-44-3 | 96 | | - | - |
| 203 | 第一種 | テトラフルオロエチレン | 63 | 116-14-3 | - | | | - |
| 204 | 第一種 | テトラメチルチウラムジスルフィド(別名チウラム又はチラム) | - | 137-26-8 | - | | | - |
| 205 | 第一種 | テレフタル酸 | - | 100-21-0 | - | | | - |
| 206 | 第一種 | テレフタル酸ジメチル | - | 120-61-6 | - | | - | - |
| 207 | 第一種 | 銅水溶性塩(錯塩を除く。) | - | - | (有、粉) | | - | - |
| 208 | 第一種 | トリクロロアセトアルデヒド | - | 75-87-6 | - | | - | - |
| 209 | 第一種 | 1,1,1-トリクロロエタン | 67 | 71-55-6 | 78 | | | - |
| 210 | 第一種 | 1,1,2-トリクロロエタン | - | 79-00-5 | - | | - | - |
| 211 | 第一種 | トリクロロエチレン | 11 | 79-01-6 | 79 | | | - |
| 212 | 第一種 | 2,4,6-トリクロロ-1,3,5-トリアジン | - | 108-77-0 | - | | - | - |
| 213 | 第一種 | トリクロロトリフルオロエタン(別名CFC-113) | - | - | - | | - | - |
| 214 | 第一種 | トリクロロニトロメタン(別名クロロピクリン) | - | 76-06-2 | - | | | - |
| 215 | 第一種 | 2,2,2-トリクロロ-1,1-ビス(4-クロロフェル)エタノール(別名ケルセン又はジコホル) | - | 115-32-2 | - | | - | - |
| 216 | 第一種 | (3,5,6-トリクロロ-2-ピリジル)オキシ酢酸(別名トリクロピル) | - | 55335-06-3 | - | | - | - |
| 217 | 第一種 | トリクロロフルオロメタン(別名CFC-11) | - | 75-69-4 | - | | | - |
| 218 | 第一種 | 1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン | - | 2451-62-9 | - | | | - |
| 219 | 第一種 | 2,4,6-トリニトロトルエン | - | 118-96-7 | - | | | - |
| 220 | 第一種 | a,a,a-トリフルオロ-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-p-トルイジン(別名トリフルラリン) | - | 1582-09-8 | - | | - | - |
| 221 | 第一種 | 2,4,6-トリプロモフェノール | - | 118-79-6 | - | | - | - |
| 222 | 第一種 | トリプロモメタン(別名プロモホルム) | - | 75-25-2 | - | | | - |
| 223 | 第一種 | 3,5,5-トリメチル-1-ヘキサノール | - | 3452-97-9 | - | | - | - |
| 224 | 第一種 | 1,3,5-トリメチルベンゼン | 3 | 108-67-8 | - | | - | - |
| 225 | 第一種 | o-トルイジン | - | 95-53-4 | 82 | | | - |
| 226 | 第一種 | p-トルイジン | - | 106-49-0 | 82 | | | - |
| 227 | 第一種 | トルエン | 1 | 108-88-3 | 83 | | | - |
| 228 | 第一種 | 2,4-トルエンジアミン | - | 95-80-7 | 55 | | | - |
| 229 | 第一種 | 2-(2-ナフチルオキシ)プロピオンアニリド(別名ナプロアニリド) | - | 52570-16-8 | - | | - | - |
| 230 | 第一種 | 鉛及びその化合物 | - | - | (有、粉) | | - | - |
| 231 | 第一種 | ニッケル | - | 7440-02-0 | 86 | | | - |
| 232 | 特定 | ニッケル化合物 | - | - | (有、粉) | | | - |

| | 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|-----|-----|---|-------|------------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 233 | 第一種 | ニトリロ三酢酸 | - | 139-13-9 | - | | | - |
| 234 | 第一種 | p-ニトロアニリン | - | 100-01-6 | 87 | | | - |
| 235 | 第一種 | ニトログリコール | - | 628-96-6 | - | | | - |
| 236 | 第一種 | ニトログリセリン | - | 55-63-0 | - | | | - |
| 237 | 第一種 | p-ニトロクロロベンゼン | - | 100-00-5 | (有、粉) | | | - |
| 238 | 第一種 | N-ニトロソジフェニルアミン | - | 86-30-6 | 88 | | - | - |
| 239 | 第一種 | p-ニトロフェノール | - | 100-02-7 | - | | - | - |
| 240 | 第一種 | ニトロベンゼン | - | 98-95-3 | 90 | | | - |
| 241 | 第一種 | 二硫化炭素 | - | 75-15-0 | 91 | | | - |
| 242 | 第一種 | ノニルフェノール | - | 25154-52-3 | - | | - | - |
| 243 | 第一種 | バリウム及びその水溶性化合物 | - | - | - | | - | - |
| 244 | 第一種 | ピクリン酸 | - | 88-89-1 | - | | | - |
| 245 | 第一種 | 2,4-ビス(エチルアミノ)-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン(別名シメトリン) | - | 1014-70-6 | - | | - | - |
| 246 | 第一種 | ビス(8-キノリノラト)銅(別名オキシ銅又は有機銅) | - | 10380-28-6 | - | | - | - |
| 247 | 第一種 | 3,6-ビス(2-クロロフェニル)-1,2,4,5-テトラジン(別名クロフェンチジン) | - | 74115-24-5 | - | | - | - |
| 248 | 第一種 | ビス(ジチオリン酸)S,S'-メチレン-O,O',O'-テトラエチル(別名エチオン) | - | 563-12-2 | - | | | - |
| 249 | 第一種 | ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)亜鉛(別名ジラム) | - | 137-30-4 | 1 | | - | - |
| 250 | 第一種 | ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)N,N'-エチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛)(別名ポリカーバメート) | - | 64440-88-6 | 1 | | - | - |
| 251 | 第一種 | ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド | - | 61789-80-8 | - | | - | - |
| 252 | 特定 | 砒素及びその無機化合物 | - | - | (有、粉) | | - | - |
| 253 | 第一種 | ヒドラジン | - | 302-01-2 | - | | | - |
| 254 | 第一種 | ヒドロキノン | - | 123-31-9 | - | | | - |
| 255 | 第一種 | 4-ビニル-1-シクロヘキセン | - | 100-40-3 | - | | | - |
| 256 | 第一種 | 2-ビニルピリジン | - | 100-69-6 | - | | - | - |
| 257 | 第一種 | 1-(4-ピフェニルオキシ)-3,3-ジメチル-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)-2-ブタノール(別名ピテルタノール) | - | 55179-31-2 | - | | - | - |
| 258 | 第一種 | ピペラジン | - | 110-85-0 | - | | - | - |
| 259 | 第一種 | ピリジン | - | 110-86-1 | 93 | | | - |
| 260 | 第一種 | ピロカテコール(別名カテコール) | - | 120-80-9 | - | | | - |
| 261 | 第一種 | フェニルオキシラン | - | 96-09-3 | - | | | - |
| 262 | 第一種 | o-フェニレンジアミン | - | 95-54-5 | 94 | | | - |
| 263 | 第一種 | p-フェニレンジアミン | - | 106-50-3 | 94 | | | - |
| 264 | 第一種 | m-フェニレンジアミン | - | 108-45-2 | 94 | | | - |
| 265 | 第一種 | p-フェネチジン | - | 156-43-4 | - | | - | - |
| 266 | 第一種 | フェノール | 95 | 108-95-2 | 95 | | | - |
| 267 | 第一種 | 3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロビニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名ペルメトリン) | - | 52645-53-1 | - | | - | - |
| 268 | 第一種 | 1,3-ブタジエン | 73 | 106-99-0 | 100 | | | - |
| 269 | 第一種 | フタル酸ジ-n-オクチル | - | 117-84-0 | 96 | | - | - |
| 270 | 第一種 | フタル酸ジ-n-ブチル | - | 84-74-2 | 96 | | | - |
| 271 | 第一種 | フタル酸ジ-n-ヘプチル | - | 3648-21-3 | 96 | | - | - |

| | 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|-----|-----|--|-------|-------------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 272 | 第一種 | フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) | - | 117-81-7 | 96 | | | - |
| 273 | 第一種 | フタル酸n-ブチル=ベンジル | - | 85-68-7 | 96 | | - | - |
| 274 | 第一種 | 2-tert-ブチルイミノ-3-イソプロピル-5-フェニルテトラヒドロ-4H-1,3,5-チアジ アジン-4-オン(別名プロフェジン) | - | 69327-76-0 | - | | | - |
| 275 | 第一種 | N-tert-ブチル-N-(4-エチルベンゾイル)-3,5-ジメチルベンゾヒドラジド(別 名テブフェノジド) | - | 112410-23-8 | - | | - | - |
| 276 | 第一種 | N-[1-(N-n-ブチルカルバモイル)-1H-2-ベンゾイミダゾリル]カルバミン酸メ チル(別名ベノミル) | - | 17804-35-2 | - | | | - |
| 277 | 第一種 | ブチル=(R)-2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート (別名シハ口ホップブチル) | - | 122008-85-9 | - | | - | - |
| 278 | 第一種 | tert-ブチル=4-({[(1,3-ジメチル-5-フェノキシ-4-ピラゾリル)メチリデン]アミ ノオキシ}メチル)ベンゾアート(別名フェンピロキシメート) | - | 134098-61-6 | - | | - | - |
| 279 | 第一種 | 2-(4-tert-ブチルフェノキシ)シクロヘキシル=2-プロピニル=スルフィット(別 名プロバルギット又はBPPS) | - | 2312-35-8 | - | | - | - |
| 280 | 第一種 | 2-tert-ブチル-5-(4-tert-ブチルベンジルチオ)-4-クロロ-3(2H)-ピリダジ ン(別名ピリダベン) | - | 96489-71-3 | - | | - | - |
| 281 | 第一種 | N-(4-tert-ブチルベンジル)-4-クロロ-3-エチル-1-メチルピラゾール-5-カ ルボキサミド(別名テブフェンピラド) | - | 119168-77-3 | - | | - | - |
| 282 | 第一種 | N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド | - | 95-31-8 | - | | - | - |
| 283 | 第一種 | ふっ化水素及びその水溶性塩 | - | - | 97 | | - | - |
| 284 | 第一種 | N,N-プロピレンビス(ジチオカルバミン酸)と亜鉛の重合体(別名プロピネ ブ) | - | 12071-83-9 | - | | - | - |
| 285 | 第一種 | プロモクロロジフルオロメタン(別名ハロン-1211) | - | 353-59-3 | - | | - | - |
| 286 | 第一種 | プロモトリフルオロメタン(別名ハロン-1301) | - | 75-63-8 | - | | - | - |
| 287 | 第一種 | 2-プロモプロパン | - | 75-26-3 | - | | - | - |
| 288 | 第一種 | プロモメタン(別名臭化メチル) | 78 | 74-83-9 | - | | | - |
| 289 | 第一種 | ヘキサキス(2-メチル-2-フェニルプロピル)ジスタノキサン(別名酸化フェンブ タスズ) | - | 13356-08-6 | - | | - | - |
| 290 | 第一種 | 1,4,5,6,7,7-ヘキサクロロピシクロ[2.2.1]-5-ヘプテン-2,3-ジカルボン酸(別名 クロレンド酸) | - | 115-28-6 | - | | | - |
| 291 | 第一種 | 6,7,8,9,10,10-ヘキサクロロ-1,5,5a,6,9,9a-ヘキサヒドロ-6,9-メタノ-2,4,3-ベン ゾジオキサチエピン=3-オキシド(別名エンドスルファン又はベンゾエピン) | - | 115-29-7 | - | | | - |
| 292 | 第一種 | ヘキサメチレンジアミン | - | 124-09-4 | - | | | - |
| 293 | 第一種 | ヘキサメチレン=ジイソシアネート | - | 822-06-0 | - | | | - |
| 294 | 特定 | ベリリウム及びその化合物 | - | - | (有、粉) | | - | - |
| 295 | 特定 | ベンジリジン=トリクロリド | - | 98-07-7 | 105 | | | - |
| 296 | 第一種 | ベンジリデン=ジクロリド | - | 98-87-3 | - | | | - |
| 297 | 第一種 | ベンジル=クロリド(別名塩化ベンジル) | - | 100-44-7 | 27 | | - | - |
| 298 | 第一種 | ベンズアルデヒド | - | 100-52-7 | - | | | - |
| 299 | 特定 | ベンゼン | 50 | 71-43-2 | (有、粉) | | | - |
| 300 | 第一種 | 1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物 | - | 552-30-7 | - | | | - |
| 301 | 第一種 | 2-(2-ベンゾチアゾリルオキシ)-N-メチルアセトアニリド(別名メフェナセツ) | - | 73250-68-7 | - | | - | - |

| | 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|-----|-----|--|-------|-------------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 302 | 第一種 | ペンタクロロニトロベンゼン(別名キントゼン又はPCNB) | - | 82-68-8 | - | | | - |
| 303 | 第一種 | ペンタクロロフェノール | - | 87-86-5 | - | | | - |
| 304 | 第一種 | ほう素及びその化合物 | - | - | 106 | | - | - |
| 305 | 第一種 | ホスゲン | - | 75-44-5 | (有) | | | |
| 306 | 第一種 | ポリ塩化ビフェニル(別名PCB) | - | 1336-36-3 | - | | | - |
| 307 | 第一種 | ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。) | - | - | - | | - | - |
| 308 | 第一種 | ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル | - | 9036-19-5 | - | | - | - |
| 309 | 第一種 | ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル | - | 9016-45-9 | - | | - | - |
| 310 | 第一種 | ホルムアルデヒド | 99 | 50-00-0 | (有、粉) | | | |
| 311 | 第一種 | マンガン及びその化合物 | - | - | (有、粉) | | - | - |
| 312 | 第一種 | 無水フタル酸 | - | 85-44-9 | - | | | - |
| 313 | 第一種 | 無水マレイン酸 | - | 108-31-6 | - | | | - |
| 314 | 第一種 | メタクリル酸 | - | 79-41-4 | 107 | | | |
| 315 | 第一種 | メタクリル酸2-エチルヘキシル | - | 688-84-6 | 108 | | - | - |
| 316 | 第一種 | メタクリル酸2,3-エポキシプロピル | - | 106-91-2 | 108 | | - | - |
| 317 | 第一種 | メタクリル酸2-(ジエチルアミノ)エチル | - | 105-16-8 | 108 | | - | - |
| 318 | 第一種 | メタクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル | - | 2867-47-2 | 108 | | - | - |
| 319 | 第一種 | メタクリル酸n-ブチル | - | 97-88-1 | 108 | | - | - |
| 320 | 第一種 | メタクリル酸メチル | 72 | 80-62-6 | 108 | | | - |
| 321 | 第一種 | メタクリロニトリル | - | 126-98-7 | - | | | - |
| 322 | 第一種 | (Z)-2-メチルアセトフェノン=4,6-ジメチル-2-ピリミジニルヒドラゾン(別名フェリムゾン) | - | 89269-64-7 | - | | - | - |
| 323 | 第一種 | N-メチルアニリン | - | 100-61-8 | (有、粉) | | | - |
| 324 | 第一種 | メチルイソチオシアネート | - | 556-61-6 | - | | - | - |
| 325 | 第一種 | N-メチルカルバミン酸2-イソプロピルフェニル(別名イソプロカルブ又はMIPC) | - | 2631-40-5 | - | | - | - |
| 326 | 第一種 | N-メチルカルバミン酸2-イソプロポキシフェニル(別名プロボキシル又はPHC) | - | 114-26-1 | - | | | - |
| 327 | 第一種 | N-メチルカルバミン酸2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチル-7-ベンゾ[b]フラニル(別名カルボフラン) | - | 1563-66-2 | - | | | - |
| 328 | 第一種 | N-メチルカルバミン酸3,5-ジメチルフェニル(別名XMC) | - | 2655-14-3 | - | | - | - |
| 329 | 第一種 | N-メチルカルバミン酸1-ナフチル(別名カルバリル又はNAC) | - | 63-25-2 | - | | | - |
| 330 | 第一種 | N-メチルカルバミン酸2-sec-ブチルフェニル(別名フェノブカルブ又はBPMC) | - | 3766-81-2 | - | | | - |
| 331 | 第一種 | メチル=3-クロロ-5-(4,6-ジメトキシ-2-ピリミジニルカルバモイルスルファモイル)-1-メチルピラゾール-4-カルボキシラート(別名ハロスルフロメチル) | - | 100784-20-1 | - | | - | - |
| 332 | 第一種 | 3-メチル-1,5-ジ(2,4-キシリル)-1,3,5-トリアザベンタ-1,4-ジエン(別名アミトラス) | - | 33089-61-1 | - | | - | - |
| 333 | 第一種 | N-メチルジチオカルバミン酸(別名カーバム) | - | 144-54-7 | - | | - | - |
| 334 | 第一種 | 6-メチル-1,3-ジチオロ[4,5-b]キノキサリン-2-オン | - | 2439-01-2 | - | | - | - |
| 335 | 第一種 | a-メチルスチレン | - | 98-83-9 | - | | | - |
| 336 | 第一種 | 3-メチルピリジン | - | 108-99-6 | - | | - | - |
| 337 | 第一種 | S-1-メチル-1-フェニルエチル=ピペリジン-1-カルボチオアート(別名ジメピレート) | - | 61432-55-1 | - | | - | - |

| | 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|-----|-----|--|-------|------------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 338 | 第一種 | メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート(別名m-トリレンジイソシアネート) | - | 26471-62-5 | 81 | | | - |
| 339 | 第一種 | 2-(1-メチルプロピル)-4,6-ジニトロフェノール | - | 88-85-7 | - | | - | - |
| 340 | 第一種 | 4,4'-メチレンジアニリン | - | 101-77-9 | 54 | | | - |
| 341 | 第一種 | メチレンビス(4,1-シクロヘキシレン)=ジイソシアネート | - | 5124-30-1 | - | | | - |
| 342 | 第一種 | N-(6-メトキシ-2-ピリジル)-N-メチルチオカルバミン酸O-3-tert-ブチルフェニル(別名ピリプチカルブ) | - | 88678-67-5 | - | | - | - |
| 343 | 特定 | 9-メトキシ-7H-フロ[3,2-g][1]ベンゾピラン-7-オン(別名メトキサレン) | - | 298-81-7 | - | | - | - |
| 344 | 第一種 | 2-メトキシ-5-メチルアニリン | - | 120-71-8 | - | | | - |
| 345 | 第一種 | メルカプト酢酸 | - | 68-11-1 | - | | | - |
| 346 | 第一種 | モリブデン及びその化合物 | - | - | - | | - | - |
| 347 | 第一種 | りん酸2-クロロ-1-(2,4-ジクロロフェニル)ビニル=ジエチル(別名クロルフェンピンホス又はCVP) | - | 470-90-6 | - | | - | - |
| 348 | 第一種 | りん酸2-クロロ-1-(2,4-ジクロロフェニル)ビニル=ジメチル(別名ジメチルピンホス) | - | 2274-67-1 | - | | - | - |
| 349 | 第一種 | りん酸1,2-ジプロモ-2,2-ジクロロエチル=ジメチル(別名ナレド又はBRP) | - | 300-76-5 | - | | | - |
| 350 | 第一種 | りん酸ジメチル=2,2-ジクロロビニル(別名ジクロロホス又はDDVP) | - | 62-73-7 | - | | | - |
| 351 | 第一種 | りん酸ジメチル=(E)-1-メチル-2-(N-メチルカルバモイル)ビニル(別名モノクロトホス) | - | 6923-22-4 | - | | | - |
| 352 | 第一種 | りん酸トリス(2-クロロエチル) | - | 115-96-8 | - | | - | - |
| 353 | 第一種 | りん酸トリス(ジメチルフェニル) | - | 25155-23-1 | - | | - | - |
| 354 | 第一種 | りん酸トリ-n-ブチル | - | 126-73-8 | 123 | | | - |
| 355 | 府独自 | 臭素 | - | 7726-95-6 | (有、粉) | - | | - |
| 356 | 府独自 | アントラセン | | 120-12-7 | 13 | - | - | - |
| 357 | 府独自 | エチレングリコールモノブチルエーテル | | 111-76-2 | 19 | - | - | - |
| 358 | 府独自 | カルバミン酸エチル(ウレタン) | | 51-79-6 | 31 | - | - | - |
| 359 | 府独自 | 蟻酸 | | 64-18-6 | 33 | - | | - |
| 360 | 府独自 | クロトンアルデヒド | | 4170-30-3 | 35 | - | | - |
| 361 | 府独自 | 2-クロロ-1,3-ブタジエン(クロロブレン) | | 126-99-8 | 39 | - | | - |
| 362 | 府独自 | 酢酸ブチル | 13 | 123-86-4 | 43 | - | | - |
| 363 | 府独自 | 三塩化リン | - | 7719-12-2 | 45 | - | | - |
| 364 | 府独自 | シクロヘキサノン | 52 | 108-94-1 | 50 | - | | - |
| 365 | 府独自 | シクロヘキサン | 24 | 110-82-7 | 51 | - | | - |
| 366 | 府独自 | ジアニシジン | - | 119-90-4 | 52 | - | | - |
| 367 | 府独自 | 4,4'-ジアミノジフェニルエーテル | - | 101-80-4 | 53 | - | | - |
| 368 | 府独自 | 1,5-ジニトロナフタリン | - | 605-71-0 | 65 | - | - | - |
| 369 | 府独自 | 1,8-ジニトロナフタリン | - | 602-38-0 | 65 | - | - | - |
| 370 | 府独自 | 2,4-ジメチルアニリン | | 95-68-1 | 68 | - | | - |
| 371 | 府独自 | N,N-ジメチルアニリン | | 121-69-7 | 69 | - | | - |
| 372 | 府独自 | チオセミカルバジド | | 79-19-6 | 73 | - | - | - |
| 373 | 府独自 | 2,4,6-トリアミノ-1,3,5-トリアジン(メラミン) | - | 108-78-1 | 76 | - | - | - |
| 374 | 府独自 | トリエタノールアミン | - | 102-71-6 | 77 | - | | - |
| 375 | 府独自 | 3,5,5-トリメチル-2-シクロヘキサン-1-オン(イソホロン) | 51 | 78-59-1 | 80 | - | | - |

| | 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|-----|-----|--------------------------|-------|-----------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 376 | 府独自 | ナフタレン | 96 | 91-20-3 | 84 | - | - | - |
| 377 | 府独自 | - ナフチルアミン | - | 134-32-7 | 85 | - | - | - |
| 378 | 府独自 | o-ニトロトルエン | | 88-72-2 | 89 | - | - | - |
| 379 | 府独自 | p-ニトロトルエン | | 99-08-1 | 89 | - | - | - |
| 380 | 府独自 | m-ニトロトルエン | | 99-99-0 | 89 | - | - | - |
| 381 | 府独自 | 2-ヒドロキシナフタレン | - | 135-19-3 | 92 | - | - | - |
| 382 | 府独自 | フルフリルアルコール | | 98-00-0 | 99 | - | - | - |
| 383 | 府独自 | 1-ブタノール | | 71-36-3 | 101 | - | - | - |
| 384 | 府独自 | 2-ブタノン | 8 | 78-93-3 | 102 | - | - | - |
| 385 | 府独自 | ヘキサン | 17 | 110-54-3 | 104 | - | - | - |
| 386 | 府独自 | メチルアルコール | 6 | 67-56-1 | 109 | - | - | - |
| 387 | 府独自 | メチルクロロメチルエーテル | | 107-30-2 | 110 | - | - | - |
| 388 | 府独自 | 4-メチル-2-ペンタノン | 15 | 108-10-1 | 112 | - | - | - |
| 389 | 府独自 | 硫酸ジエチル | | 64-67-5 | 118 | - | - | - |
| 390 | 府独自 | 硫酸ジメチル | | 77-78-1 | 119 | - | - | - |
| 391 | 府独自 | リン酸ジブチル | | 107-66-4 | 121 | - | - | - |
| 392 | VOC | アセトン | 14 | 67-64-1 | 7 | - | - | - |
| 393 | VOC | 酢酸エチル | 4 | 141-78-6 | 43 | - | - | - |
| 394 | VOC | 酢酸プロピル | 25 | 109-60-4 | 43 | - | - | - |
| 395 | VOC | デカン | 5 | 124-18-5 | - | - | - | - |
| 396 | VOC | n-ブタン | 9 | 106-97-8 | - | - | - | - |
| 397 | VOC | イソブタン | 10 | 75-28-5 | - | - | - | - |
| 398 | VOC | イソプロピルアルコール | 12 | 67-30-1 | - | - | - | - |
| 399 | VOC | ブチルセロソルブ | 16 | 111-76-2 | - | - | - | - |
| 400 | VOC | n-ブタノール | 18 | 78-92-2 | - | - | - | - |
| 401 | VOC | n-ペンタン | 19 | 109-66-0 | - | - | - | - |
| 402 | VOC | cis-2-ブテン | 20 | 107-01-7 | - | - | - | - |
| 403 | VOC | イソブタノール | 21 | 78-83-1 | - | - | - | - |
| 404 | VOC | プロピレングリコールモノメチルエーテル | 22 | 107-98-2 | - | - | - | - |
| 405 | VOC | trans-2-ブテン | 26 | 624-64-6 | - | - | - | - |
| 406 | VOC | ウンデカン | 28 | 1120-21-4 | - | - | - | - |
| 407 | VOC | ノナン | 29 | 111-84-2 | - | - | - | - |
| 408 | VOC | プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート | 30 | 108-65-6 | - | - | - | - |
| 409 | VOC | 2-メチルペンタン | 31 | 107-83-5 | - | - | - | - |
| 410 | VOC | 2-メチル-2-ブテン | 33 | 513-35-9 | - | - | - | - |
| 411 | VOC | エチルシクロヘキサン | 34 | 1678-91-7 | - | - | - | - |
| 412 | VOC | テトラリン | 35 | 119-64-2 | - | - | - | - |
| 413 | VOC | メチルアミルケトン(2-ヘプタノン) | 36 | 110-43-0 | - | - | - | - |
| 414 | VOC | メチルn-ブチルケトン | 37 | 591-78-6 | - | - | - | - |
| 415 | VOC | ベンジルアルコール | 39 | 100-51-6 | - | - | - | - |
| 416 | VOC | シクロペンタノン | 40 | 120-92-3 | - | - | - | - |
| 417 | VOC | 2-メチル-1-ブテン | 41 | 563-46-2 | - | - | - | - |

| | 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|-----|-----|-----------------------------|-------|-----------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 418 | VOC | n-ヘプタン | 42 | 142-82-5 | - | - | - | - |
| 419 | VOC | ビシクロヘキシル(1,1'-ビシクロヘキサン) | 43 | 92-51-3 | - | - | - | - |
| 420 | VOC | trans-2-ペンテン | 45 | 646-04-8 | - | - | - | - |
| 421 | VOC | cis-2-ペンテン | 46 | 627-20-3 | - | - | - | - |
| 422 | VOC | N-メチル-2-ピロリドン | 48 | 872-50-4 | - | - | - | - |
| 423 | VOC | エタノール | 53 | 64-17-5 | - | - | - | - |
| 424 | VOC | メチルシクロペンタン | 54 | 96-37-7 | - | - | - | - |
| 425 | VOC | 3-メチルヘキサン | 56 | 589-34-4 | - | - | - | - |
| 426 | VOC | 2,3-ジメチルブタン | 57 | 79-29-8 | - | - | - | - |
| 427 | VOC | 2,2-ジメチルブタン | 58 | 75-83-2 | - | - | - | - |
| 428 | VOC | メチルシクロヘキサン | 59 | 108-87-2 | - | - | - | - |
| 429 | VOC | イソプロピルセロソルブ | 60 | 109-59-1 | - | - | - | - |
| 430 | VOC | クメン | 65 | 98-82-8 | - | - | - | - |
| 431 | VOC | テトラヒドロフラン | 69 | 109-99-9 | - | - | - | - |
| 432 | VOC | n-プロピルプロマイド | 71 | 106-94-5 | - | - | - | - |
| 433 | VOC | 2,4-ジメチルペンタン | 75 | 142-82-5 | - | - | - | - |
| 434 | VOC | ジペンテン | 79 | 7705-14-8 | - | - | - | - |
| 435 | VOC | 1-ヘプテン | 80 | 592-76-7 | - | - | - | - |
| 436 | VOC | ギ酸メチル | 92 | 107-31-3 | - | - | - | - |
| 437 | VOC | トリメチルアミン | 93 | 121-44-8 | - | - | - | - |
| 438 | VOC | 3-メチルヘプタン | 94 | 589-81-1 | - | - | - | - |
| 439 | VOC | 2-オクタノール | | 123-96-6 | 30 | - | - | - |
| 440 | VOC | 酢酸 | | 64-19-7 | 42 | - | - | - |
| 441 | VOC | 2-プロパノール | | 67-63-0 | 103 | - | - | - |
| 442 | VOC | 上記以外の揮発性有機化合物及び揮発性有機化合物の混合物 | | - | - | - | - | - |

- 注) 1. 「区分」の欄において、「第一種」、「特定」、「府独自」及び「VOC」はそれぞれ以下のとおりであることを示す。
「第一種」：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律施行令(平成12年政令第138号)別表第1に掲げる第一種指定化学物質
「特定」：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律施行令(平成12年政令第138号)第4条第1号で特定第一種指定化学物質とされているもの(発がん性を有する化学物質等に該当)
「府独自」：大阪府化学物質適正管理指針(平成7年5月1日施行)別表に掲げられている管理物質の中から定めた化学物質
「VOC」：揮発性有機化合物に該当する化学物質(「第一種」、「特定」、「第二種」又は「府独自」に該当する化学物質は除く。)
2. 「VOC該当」の欄において、「数字」、「」及び「-」はそれぞれ以下のとおりであることを示す。
「数字」：環境省の示した「揮発性有機化合物(VOC)に該当する主な物質」の表に掲げられてる化学物質であり、数字は当該表の「順位」を表示
「」：沸点(150℃以上)又は蒸気圧(293.15Kで0.01kPa以下)に該当し、揮発性有機化合物に該当すると認められる化学物質(「府独自」及び「VOC」に該当する化学物質にのみ表示)
「-」：「数字」又は「」に該当しない化学物質(揮発性有機化合物に該当しない化学物質であることは意味しない。)
3. 「CAS番号」の欄は、米国化学会の1部門であるCAS(Cemical Abstracts Service)が管理・運営する化学物質登録システムから付与された化学物質に固有の数値識別番号を表示している。なお、「」及びその化合物等の単一の化学物質でないものについては、「-」で表示している。
4. 「現指針該当」の欄はにおいて、「数字」、「」及び「-」はそれぞれ以下のとおりであることを示す。
「数字」：大阪府化学物質適正管理指針(平成7年5月1日施行)別表に掲げられてる管理物質。なお、数字は別表中での当該管理物質の番号を示す。
「」：大阪府生活環境の保全等に関する条例施行規則(平成6年大阪府規則第81号)別表第1(有害物質に係る規制物質、(有)を付して表示)又は別表第2(特定粉じんに係る規制物質、(粉)を付して表示)に該当する物質。
「-」：「数字」又は「」に該当しない化学物質
5. 「MSDSの義務付けの有無」の欄は、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律(平成11年法律第86号)(「化管法」と略記)、労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)(「労安法」と略記)又は毒物及び劇物取締法(昭和25年法律第303号)(「毒劇法」と略記)の規定によるMSDSの義務付けの有無を示す。
「」：MSDSの義務付け有
「-」：MSDSの義務付け無

大阪府生活環境の保全等に関する条例において適正管理の対象とする化学物質(案)

2. 取扱量及び排出量・移動量の把握及び届出の対象外とする化学物質

| No. | 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|-----|-----|---|-------|-------------|-------|--------------|-----|-----|
| | | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 1 | 第二種 | アセトアミド | - | 60-35-5 | - | | | - |
| 2 | 第二種 | p-アニシジン | - | 104-94-9 | (有、粉) | | | - |
| 3 | 第二種 | 2-アミノ-5-ニトロベンゾニトリル | - | 17420-30-3 | - | | - | - |
| 4 | 第二種 | 2-アミノピリジン | - | 504-29-0 | 11 | | | - |
| 5 | 第二種 | 4-[(4-アミノフェニル)(4-イミノ-2,5-シクロヘキサジエン-1-イリデン)メチル]-2-メチルベンゼンアミン塩酸塩(別名マゼンタ) | - | 632-99-5 | - | | | - |
| 6 | 第二種 | p-アミノフェノール | - | 123-30-8 | - | | - | - |
| 7 | 第二種 | 3-アミノ-4-メトキシアセトアニリド | - | 6375-47-9 | - | | - | - |
| 8 | 第二種 | 4-アリル-1,2-ジメチルベンゼン | - | 93-15-2 | - | | - | - |
| 9 | 第二種 | インジウム及びその化合物 | - | - | - | | - | - |
| 10 | 第二種 | N-エチルアニリン | - | 103-69-5 | (有、粉) | | - | - |
| 11 | 第二種 | 2-エチルアミノ-4-イソプロピルアミノ-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン(別名アマトリン) | - | 834-12-8 | - | | - | - |
| 12 | 第二種 | O-エチル=O-2-(イソプロポキシカルボニル)フェニル=N-イソプロピルホスホルアミドチオアート(別名イソフェンホス) | - | 25311-71-1 | - | | - | - |
| 13 | 第二種 | 5-エチル-5-フェニル-2,4,6(1H,3H,5H)-ピリミジントリオン(別名フェノバルピタール) | - | 50-06-6 | - | | - | - |
| 14 | 第二種 | 1,2-エポキシブタン | - | 106-88-7 | - | | | - |
| 15 | 第二種 | 4-オキシラニル-1,2-エポキシシクロヘキサン | - | 106-87-6 | - | | | - |
| 16 | 第二種 | オルトケイ酸テトラメチル(別名テトラメトキシシラン) | - | 681-84-5 | - | | | - |
| 17 | 第二種 | 2,4-キシレノール | - | 105-67-9 | - | | - | - |
| 18 | 第二種 | 2-(4-クロロ-6-エチルアミノ-1,3,5-トリアン-2-イル)アミノ-2-メチルプロピオニトリル(別名シアナジン) | - | 21725-46-2 | - | | - | - |
| 19 | 第二種 | 5-クロロ-N-{2-[4-(2-エトキシエチル)-2,3-ジメチルフェノキシ]エチル}-6-エチルピリミジン-4-アミン(別名ピリミジフェン) | - | 105779-78-0 | - | | - | - |
| 20 | 第二種 | 1-クロロナフタレン | - | 90-13-1 | - | | - | - |
| 21 | 第二種 | O-6-クロロ-3-フェニル-4-ピリダジニル=S-n-オクチル=チオカルボナート(別名ピリデート) | - | 55512-33-9 | - | | - | - |
| 22 | 第二種 | p-クロロフェノール | - | 106-48-9 | - | | | - |
| 23 | 第二種 | 2-クロロプロピオン酸 | - | 598-78-7 | - | | | - |
| 24 | 第二種 | a-シアノ-3-フェノキシベンジル=2,2-ジクロロ-1-(4-エトキシフェニル)シクロプロパンカルボキシラート(別名シクロプロトリン) | - | 63935-38-6 | - | | - | - |
| 25 | 第二種 | (S)-a-シアノ-3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロピニル)-2,2-ジメチル-cis-シクロプロパンカルボキシラート(別名a-シベルメトリン) | - | 67375-30-8 | - | | - | - |
| 26 | 第二種 | 1-(3,5-ジクロロ-2,4-ジフルオロフェニル)-3-(2,6-ジフルオロベンゾイル)尿素(別名テフルベンズロン) | - | 83121-18-0 | - | | - | - |

| 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|----|-----|---|-------|------------|--------------|-----|-----|
| | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 27 | 第二種 | 2,2-ジクロロ-N-[2-ヒドロキシ-1-(ヒドロキシメチル)-2-(4-ニトロフェニル)エチル]アセトアミド(別名クロラムフェニコール) | - | 56-75-7 | - | - | - |
| 28 | 第二種 | 2,4-ジクロロ-a-(5-ピリミジニル)ベンズヒドリル=アルコール(別名フェナリモル) | - | 60168-88-9 | - | - | - |
| 29 | 第二種 | 2-(2,4-ジクロロフェニル)-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)-2-ヘキサノール(別名ヘキサコナゾール) | - | 79983-71-4 | - | - | - |
| 30 | 第二種 | ジナトリウム=4-アミノ-3-[4-(2,4-ジアミノフェニルアゾ)-1,1-ピフェニル-4-イルアゾ]-5-ヒドロキシ-6-フェニルアゾ-2,7-ナフタレンジスルホナート(別名CIダイレクトブラック38) | - | 1937-37-7 | - | - | - |
| 31 | 第二種 | ジナトリウム=8-(3,3-ジメチル-4-(4-[(p-トリル)スルホニルオキシ]フェニルアゾ)-1,1-ピフェニル-4-イルアゾ)-7-ヒドロキシ-1,3-ナフタレンジスルホナート(別名CIAシッドレッド114) | - | 6459-94-5 | - | - | - |
| 32 | 第二種 | ジナトリウム=2,2-ピニレンビス[5-(4-モルホリノ-6-アニリノ-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)ベンゼンスルホナート](別名CIFルオレスセント260) | - | 16090-02-1 | - | - | - |
| 33 | 第二種 | 2,4-ジニトロ-6-オクチルフェニル=クロトナート及び2,6-ジニトロ-4-オクチルフェニル=クロトナートの混合物(オクチル基が1-メチルヘプチル基、1-エチルヘキシル基又は1-プロピルペンチル基であるものの混合物に限る。)(別名ジノカップ又はDPC) | - | - | - | - | - |
| 34 | 第二種 | 4,6-ジニトロ-o-クレゾール | - | 534-52-1 | - | - | - |
| 35 | 第二種 | m-ジニトロベンゼン | - | 99-65-0 | - | - | - |
| 36 | 第二種 | 2,3-ジヒドロ-6-プロピル-2-チオキソ-4(1H)-ピリミジノン(別名プロピルチオウラシル) | - | 51-52-5 | - | - | - |
| 37 | 第二種 | ジピニルベンゼン | - | 1321-74-0 | - | - | - |
| 38 | 第二種 | 5,5-ジフェニル-2,4-イミダゾリジンジオン | - | 57-41-0 | - | - | - |
| 39 | 第二種 | 1,4-ジプロモブタン | - | 110-52-1 | - | - | - |
| 40 | 第二種 | 1,3-ジプロモプロパン | - | 109-64-8 | - | - | - |
| 41 | 第二種 | ジベンジルエーテル | - | 103-50-4 | - | - | - |
| 42 | 第二種 | 2,3-ジメチルアニリン | - | 87-59-2 | - | - | - |
| 43 | 第二種 | 1,1-ジメチルヒドラジン | - | 57-14-7 | - | - | - |
| 44 | 第二種 | タリウム及びその水溶性化合物 | - | - | - | - | - |
| 45 | 第二種 | チオアセトアミド | - | 62-55-5 | - | - | - |
| 46 | 第二種 | 鉄カルボニル | - | 13463-40-6 | - | - | - |
| 47 | 第二種 | 1,1,2,2-テトラクロロエタン | - | 79-34-5 | - | - | - |
| 48 | 第二種 | テトラナトリウム=3,3-[(3,3-ジメトキシ-4,4-ピフェニレン)ビス(アゾ)]ビス(5-アミノ-4-ヒドロキシ-2,7-ナフタレンジスルホナート)(別名CIダイレクトブル-15) | - | 2429-74-5 | - | - | - |
| 49 | 第二種 | 2,3,5,6-テトラフルオロ-4-メチルベンジル=(Z)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロ-1-プロペニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名テフルトリン) | - | 79538-32-2 | - | - | - |
| 50 | 第二種 | テルル及びその化合物(水素化テルルを除く) | - | - | - | - | - |
| 51 | 第二種 | トリクロロアセトニトリル | - | 545-06-2 | - | - | - |

| 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | | |
|----|-----|--|-------|-------------|--------------|-----|-----|---|
| | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 | |
| 52 | 第二種 | ナトリウム=3-(N-{4-[4-{ジメチルアミノ}フェニル]}(4-{N-エチル[3-スルホナトフェニル]メチル}アミノ}フェニル)メチレン]-2,5-シクロヘキサジエン-1-イルデン)-N-エチルアンモニウムベンゼンスルホナート(別名CIAシッドバイオレット49) | - | 1694-09-3 | - | | | - |
| 53 | 第二種 | ナトリウム=1,1-ビフェニル-2-オラート | - | 132-27-4 | - | | | - |
| 54 | 第二種 | 二硝酸プロピレン | - | 6423-43-4 | - | | | - |
| 55 | 第二種 | m-ニトロアニリン | - | 99-09-2 | 87 | | | - |
| 56 | 第二種 | 5-[N,N-ビス(2-アセチルオキシエチル)アミノ]-2-(2-プロモ-4,6-ジニトロフェニルアゾ)-4-メトキシアセトアニリド | - | 3618-72-2 | - | | | - |
| 57 | 第二種 | ビフェニル | - | 92-52-4 | - | | | - |
| 58 | 第二種 | フェナントレン | - | 85-01-8 | - | | | - |
| 59 | 第二種 | p-(フェニルアゾ)アニリン | - | 60-09-3 | - | | | - |
| 60 | 第二種 | フタル酸ジイソブチル | - | 84-69-5 | 96 | | | - |
| 61 | 第二種 | 1-tert-ブチル-3-(2,6-ジイソプロピル-4-フェノキシフェニル)チオ尿素(別名ジアフェンチウロン) | - | 80060-09-9 | - | | | - |
| 62 | 第二種 | tert-ブチルヒドロペルオキシド | - | 75-91-2 | - | | | - |
| 63 | 第二種 | 1,3-プロパンスルホン | - | 1120-71-4 | - | | | - |
| 64 | 第二種 | N-プロピル-N-[2-(2,4,6-トリクロロフェノキシ)エチル]イミダゾール-1-カルボキサミド(別名プロクロラス) | - | 67747-09-5 | - | | | - |
| 65 | 第二種 | 2-プロピル-1-オール | - | 107-19-7 | - | | | - |
| 66 | 第二種 | 2-(4-プロモジフルオロメトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル(別名ハルフェンブロックス) | - | 111872-58-3 | - | | | - |
| 67 | 第二種 | p-プロモフェノール | - | 106-41-2 | - | | | - |
| 68 | 第二種 | 3-プロモ-1-プロペン(別名臭化アリル) | - | 106-95-6 | - | | | - |
| 69 | 第二種 | ヘキサデシルトリメチルアンモニウム=プロミド | - | 57-09-0 | - | | | - |
| 70 | 第二種 | ヘキサヒドロ-1,3,5-トリニトロ-1,3,5-トリアジン(別名シクロナイト) | - | 121-82-4 | - | | | - |
| 71 | 第二種 | ベンゾチアゾール | - | 95-16-9 | - | | | - |
| 72 | 第二種 | ペンタデカフルオロオクタノ酸アンモニウム | - | 3825-26-1 | - | | | - |
| 73 | 第二種 | メチル=2-(4,6-ジメトキシ-2-ピリジニルオキシ)-6-[1-(メトキシイミノ)エチル]ベンゾアート(別名ピリミノバックメチル) | - | 136191-64-5 | - | | | - |
| 74 | 第二種 | メチルヒドラジン | - | 60-34-4 | 111 | | | - |
| 75 | 第二種 | 2-メチル-1,1-ビフェニル-3-イルメチル=(Z)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロ-1-プロペニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名ピフエントリン) | - | 82657-04-3 | - | | | - |
| 76 | 第二種 | メチル=3-(4-メトキシ-6-メチル-1,3,5-トリアジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-2-テノアート(別名チフェンスルフロメチル) | - | 79277-27-3 | - | | | - |
| 77 | 第二種 | 4,4-メチレンビス(N,N-ジメチルアニリン) | - | 101-61-1 | - | | | - |
| 78 | 第二種 | メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート | - | 101-68-8 | - | | | - |
| 79 | 第二種 | 4,4-メチレンビス(2-メチルシクロヘキサミン) | - | 6864-37-5 | - | | | - |
| 80 | 第二種 | りん酸(Z)-2-クロロ-1-(2,4,5-トリクロロフェニル)ビニル=ジメチル(別名テトラクロロピリンホス又はCVMP) | - | 22248-79-9 | - | | | - |
| 81 | 第二種 | りん酸トリス(2-エチルヘキシル) | - | 78-42-2 | - | | | - |

| | 区分 | 物質名 | VOC該当 | CAS番号 | 現指針該当 | MSDSの義務付けの有無 | | |
|----|-----|-----------|-------|------------|--------|--------------|-----|-----|
| | | | | | | PRTR法 | 労安法 | 毒劇法 |
| 82 | 府独自 | 塩化水素 | - | 7647-01-0 | (有),25 | - | | |
| 83 | 府独自 | 塩素 | - | 7782-50-5 | (有) | - | | |
| 84 | 府独自 | アンモニア | - | 7664-41-7 | 14 | - | | |
| 85 | 府独自 | 塩化アンモニウム | - | 12125-02-9 | 24 | - | | - |
| 86 | 府独自 | 塩化パラフィン | - | 63449-39-8 | 26 | - | - | - |
| 87 | 府独自 | 五塩化リン | - | 10026-13-8 | 41 | - | | |
| 88 | 府独自 | 硝酸 | - | 7697-37-2 | 74 | - | | |
| 89 | 府独自 | 一酸化二窒素 | - | 10024-97-2 | 74 | - | | - |
| 90 | 府独自 | 五酸化二窒素 | - | 10102-03-1 | 74 | - | - | - |
| 91 | 府独自 | 一酸化窒素 | - | 10102-43-9 | 74 | - | | - |
| 92 | 府独自 | 二酸化窒素 | - | 10102-44-0 | 74 | - | | - |
| 93 | 府独自 | 四酸化二窒素 | - | 10544-72-6 | 74 | - | - | - |
| 94 | 府独自 | 三酸化二窒素 | - | 10544-73-7 | 74 | - | - | - |
| 95 | 府独自 | フッ素 | - | 7782-41-4 | 98 | - | | - |
| 96 | 府独自 | 硫化水素 | - | 7783-06-4 | 116 | - | | - |
| 97 | 府独自 | 硫酸 | - | 7664-93-9 | 117 | - | | |
| 98 | 府独自 | リン酸 | - | 7664-38-2 | 120 | - | | - |
| 99 | 府独自 | リン酸トリクレジル | - | 1330-78-5 | 122 | - | - | - |

- 注) 1. 「区分」の欄において、「第二種」及び「府独自」はそれぞれ以下のとおりであることを示す。
「第二種」：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律施行令(平成12年政令第138号)別表第2に掲げる第二種指定化学物質
「府独自」：大阪府化学物質適正管理指針(平成7年5月1日施行)別表に掲げられている管理物質の中から定めた化学物質
2. 「VOC該当」の欄において、「数字」、「」及び「-」はそれぞれ以下のとおりであることを示す。
「数字」：環境省の示した「揮発性有機化合物(VOC)に該当する主な物質」の表に掲げられてる化学物質であり、数字は当該表の「順位」を表示
「」：沸点(150以上)又は蒸気圧(293.15Kで0.01kPa以下)に該当し、揮発性有機化合物に該当すると認められる化学物質(「府独自」及び「VOC」に該当する化学物質にのみ表示)
「-」：「数字」又は「」に該当しない化学物質(揮発性有機化合物に該当しない化学物質であることは意味しない。)
3. 「CAS番号」の欄は、米国化学会の1部門であるCAS(Cemical Abstracts Service)が管理・運営する化学物質登録システムから付与された化学物質に固有の数値識別番号を表示している。なお、「」及びその化合物」等の単一の化学物質でないものについては、「-」で表示している。
4. 「現指針該当」の欄において、「数字」、「」及び「-」はそれぞれ以下のとおりであることを示す。
「数字」：大阪府化学物質適正管理指針(平成7年5月1日施行)別表に掲げられてる管理物質。なお、数字は別表中での当該管理物質の番号を示す。
「」：大阪府生活環境の保全等に関する条例施行規則(平成6年大阪府規則第81号)別表第1(有害物質に係る規制物質、(有)を付して表示)又は別表第2(特定粉じんに係る規制物質、(粉)を付して表示)に該当する物質。
「-」：「数字」又は「」に該当しない化学物質
5. 「MSDSの義務付けの有無」の欄は、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律(平成11年法律第86号)(「化管法」と略記)、労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)(「労安法」と略記)又は毒物及び劇物取締法(昭和25年法律第303号)(「毒劇法」と略記)の規定によるMSDSの義務付けの有無を示す。
「」：MSDSの義務付け有
「-」：MSDSの義務付け無